サスティナブルなひと、 ・・サスティナブルなひと、生活クラブ

生活クラブ生活協同組合 × 公益財団法人かながわ生き活き市民基金

生活クラブ ソーシャルインクルーシブ助成

助成団体紹介





目次

公益財団法人 かながわ生き活き市民基金とは	
生活クラブ・ソーシャルインクルーシブ助成について・講評	······
新型コロナ対応緊急応援助成 助成団体】	
子ども食堂・地域食堂、フードパントリー>	
NPO 法人 宮ノマエストロ	
キッチンひろば	
こども食堂 ハレの日ケの日	
- こも良星 - ハレの日ケの日	
IPO 法人 あっちこっち	
情福うえのまち食堂 ·····	
黄浜朝鮮初級学校オモニ会	
i武朝鮮初級学校オモニ会	
崎朝鮮初級学校オモニ会	
PO 法人 てらこや食堂ラッキーズ	
さみぞみんなのコミュニティ	
あいおい」みんなの食堂	
んなの居場所ようこうだいパプリカ	
かよし大船こども食堂	
リームセンターこどもカフェ	
ンドこども食堂	
ァーニとも良量 療生協かながわ 瞳班	
媛ニ励ハーイスハーイン	
· - · · ·	
町こども食堂おいしいね	
でしこ放課後食堂	
目OK食堂	
のみやこども食堂便	
ゲイン	
PO 法人 ハレルヤ ····································	
育て相談サロンままカフェ	
PO 法人 まちのかぜ ····································	
定非営利活動法人 ユナイテッドかながわ	
くぱく食堂 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
、16、Cユ 般社団法人 かながわ地域デザイン協会	
PO 法人 地域福祉を考える会	
ードパントリー&みんなの居場所 ぶどうの木 ···············	
ートハントリー&みんなの店場別 ぶとりの木	
ードバンク>	
PO 法人 ブラジル solidario 横浜	
ームやどりぎ	
ードバンクかわさき	
かつフードバンクチーム	
定非営利活動法人 サテラ	
ードコミュニティ	
ードバンクあつぎ	
oCoLo の会 ···································	
・すけあい	

<学習支援、子育て支援、居場所など>	
NPO 法人 街の家族	48
	49
青少年育成支援の会	50
	51
NPO 法人 パオパオの木	52
瀬谷第四地区社会福祉協議会	5 3
	54
TIE トマトマの会	55
川崎朝鮮初級学校アボジ会	56
	57
	58
みんなの居場所ポプケ	59
	60
	61
一般社団法人 平塚 YWCA	62
	63
	64
まほう堂	65
NPO 法人 地域で子どもを育む会	66
<相談事業、高齢者・障がい者支援、被災地支援など>	
	67
	68
	69
ちゃり Tea 屋♪	70
	71
• •	72
- •	73
	74
	75
	76
愛川芸術就継 B みらいのあいの家設立準備室	77
つくレク工作室	78
寄付文化の拡がりに皆様のご協力を ~市民基金を支える寄付方法~	79

公益財団法人かながわ生き活き市民基金とは・・・

◆ 成り立ち

食料・環境・福祉の分野での問題解決を、市民参加型ですすめてきた生活クラブ生活協同組合 (1971 年創立) は、90 年代初頭から、市民が時間・知恵・労力・いくばくかのお金を出し合って当事者となる参加型福祉運動を実践してきました。その担い手は主にワーカーズ・コレクティブという働き方を行う女性たちでした。

1990 年代当時、これら女性たちの意志ある社会貢献事業に資金を貸す金融機関が無いため、自前の財源による市民バンク(「女性・市民コミュニティバンク」の前身)をつくり、1998 年から市民事業への融資を始めました。

生活クラブ生協は 2003 年に組合員に呼びかけて、福祉たすけあいに関わる市民の福祉活動・ 非営利の市民事業の基盤造成・活動支援を行うための組織「生活クラブ福祉たすけあい基金」を 設立しました。そして「生活クラブ福祉たすけあい基金」の 10 年間の助成活動の実践を経て、 2013 年にはこの事業を地域社会の中に押し出し、「公益財団かながわ生き活き市民基金」を設立 しました。

◆ ミッション

<投資して利潤を稼ぐことが経済>という考えが現代社会に蔓延しています。つまるところ、 人々の社会生活は「経済成長」に付き従うべきだという主張につながります。しかし一方で、豊かな生活をつくることが経済の目的で、お金はそのための手段であるという考え方があります。 人と人との関係の中に「温かいお金」を循環させようという主張です。

私たちの社会は、格差・貧困が野放図にすすみ、個人の権利や尊厳が、労働・教育・環境・平 和など生活の中心分野で損なわれつつあります。女性や若者、こどもや障がいを持つ人が生きに くい社会になっています。

かながわ生き活き市民基金は、ひとりでは支えきれない地域社会の課題の解決を、お互い様から始め、更に相互扶助に留めず、人・団体・活動を、お金や情報の循環でつなぎ、市民が持つ知恵・労力・時間・いくばくかのお金などの社会資源を拠出し合い、市民が共に力を合わせ、自立した「地域市民社会」をめざします。

◆基金の事業・活動

かながわ生き活き市民基金の中心事業は、市民による寄付造成とこれを財源とした助成を 通じた市民活動・事業への支援です。11,000人を超える意思ある生活クラブ組合員の月100円 寄付を基本財源とした「福祉たすけあい助成」を中心に、個人や団体・企業からの寄付を助成金 の原資とし、寄付者オリジナルの助成プログラムを作る「オーダーメイド助成プログラム」、格 差・貧困が広がる中、様々な困難に直面する子どもたちへのサポート活動を応援する「子どもの 貧困に立ち向かう市民活動応援助成」などに取り組んでいます。

助成事業を中心に、研修セミナ―事業、相談・助言事業、広報発行事業を行っています。



生活クラブ・ソーシャルインクルーシブ助成

『生活クラブ・ソーシャルインクルーシブ助成』では生活クラブが取り組んだ『生活困窮者カンパ』による寄付をもとに、生活クラブ生活協同組合とかながわ生き活き市民基金が連携してつくりあげたオーダーメイド助成プログラムです。県内でコロナ禍でのたすけあいを広げる市民団体が2022年4月から9月の半年間に行う事業・活動を対象に、72団体に総額6.709.600円を助成しました。(1団体当たりの助成上限額10万円)

新型コロナウィルス感染拡大のパンデミックが私たちの社会を襲って 2 年以上が経ち、 今なお経済、教育、交流などの人々の暮らしに大きな影響を与え続けています。特に子ども、 一人住まいの高齢者、障害や病気を持っている方などの孤立や生活困窮の問題は、公共政 策・制度では十分な対応ができていないことが社会的課題となっています。

一方、コロナ禍で格差・貧困・孤立という社会危機が深まる中、市民が市民を支援する活動・事業は県内各地で広がりを見せました。新規団体の設立や、活動を休止していた団体にも感染の状況を見ながら再開する動きが見られ、課題解決に取り組む市民の意欲的な活動は力強さを増しています。様々な市民活動の実践を通して、分かちあい・ささえあいという市民文化がコロナ禍で人の心をとらえ、今なおコロナ禍で孤立や困窮状態にある社会的弱者に対する支援活動、市民が市民を支える活動がさらに豊かに広がっていくことに、今後も期待が高まります。

<生活クラブ・ソーシャルインクルーシブ助成 助成団体活動別分類>

助成団体活動分野	助成団体数
子ども食堂・地域食堂	32 団体
フードバンク活動	9 団体
無料学習支援	8 団体
居場所活動	13 団体
障がい者支援、社会的養護支援	5 団体
子育て世代支援、高齢者支援、相談事業 被災地支援	5 団体



選考委員(敬称略)

委員長 手塚 明美 一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ理事長

副委員長 君島 周子 生活クラブ神奈川副理事長

田中 夏子 イタリア協同組合研究者/農業者

川岸 卓哉 弁護士/(特非)原発ゼロ市民共同かわさき発電所理事長

友澤 ゆみこ (特非) ピッピ・親子サポートネット理事長

小田 鈴子 元逗子市副市長/元逗子市議

高村 文子 横浜YMCA 国際・地域事業担当チーフディレクター

伊藤 保子 (特非) さくらんぼ理事 共生事業担当

坂爪 則子 湘南生活クラブ生協理事

根岸 あすみ

横浜北生活クラブ生協

谷本 治江

横浜みなみ生活クラブ生協理事

熊谷 百合子

かわさき生活クラブ生協理事

大原 芳子

さがみ生活クラブ生協理事

駒岡 丘の上こども食堂(横浜市) 代表 七田 直樹 助成金額 50,000円

団体紹介

設立年月 2016年4月

団体の目的・活動内容

こどもの貧困対策、地域の居場所の提供、近隣の 独居老人の支援、こども食堂の運営、フードパント リー等の活動

活動歴

毎月2回開催(2022年6月2日で149回開催)

団体情報

活動場所: 横浜市駒岡地区センター内

TEL: 045-571-0035

Mail: shichida_n@komaoka-cc.com

URL://komaoka-cc.com

★助成した事業・活動

駒岡丘の上こども食堂

★内容

孤食のこども、子育て家庭、独居老人を対象としたこども食堂の開催

★助成対象

食材費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナの感染者数の減少が難しい中でのこども食 堂の火を消さない為に、感染防止を最優先で活動を 継続しております。

感染防止の為に食堂での飲み物をペットボトル化 したり、消毒用の備品その他の整備にも経費が嵩 むため、経費を以下のミニマイズするか?苦心して おります。

今回の助成により、活動資金を補填する事ができ、 大変にありがたく思います。

コロナ感染拡大下で、職を無くしたひとり親家庭の 方のこども食堂へのご参加が分かり、これまで以上 にきめの細かい対応も現在、実施中です。







市民同士のたすけあい社会をひろげ地域の「格差・貧困問題」を解決しよう

2022 年 6 月 選考委員会副委員長 君島周子

生活クラブ・ソーシャルインクルーシブ助成は、生活クラブ神奈川初のオーダーメード助成です。この実現は、生活クラブのたすけあいを広げる日々の活動の積み重ねによるものですが、主には2021年12月の「生活困窮者支援カンパ」でおおぜいの参加(5238名/1口千円)により目標をこえる9,529,000円のカンパ金が集まったこと、そして生活クラブが中心となって2013年に創設した公益財団法人かながわ生き活き市民基金と連携できたことによるものだと思います。



このプログラムは、格差・貧困により社会的に孤立し困難を抱えている人々への支援活動を行っている非営利・市民団体に向けた助成です。生活困窮を取り巻く課題は多岐にわたるので、できるだけ多様な団体を応援するために、あえて助成としては少額な1団体上限10万円としました。組合員組織とも連携し、結果的に新たな団体や新規事業を計画する団体からの申請を多数受けることができました。

選考は経験豊富な有識者による選考委員会に加え生活クラブ組合員が参加する、合同選考委員会を設置しました。市民の生活に引き寄せて、応援したい活動は何かを考えることが、寄付者の意思を反映できることとし、組合員寄付者を代表する立場で取り組みました。団体数が多いこともあり、その選考は大変難しいものがありましたが、組合員外の選考委員の専門的な意見や見解から学びの多い経験となりました。

『おおぜいの生活クラブ組合員から寄せられた「生活困窮者カンパ」をもとに、「コロナ 禍でのたすけあい」を広げたい』という目的がかない、たすけあい社会づくりがまた一歩 進んだと感じます。助成金を活用した助成団体の活動がこの4月から始まりますが、お金 の支援だけでは終わらない、人のつながりを大切にするのが生活クラブ。組合員組織と助 成団体との連携で、各地域にたすけあいのつながりがさらに広がることが楽しみです。

最後に、カンパに参加してくださったおおぜいの組合員の皆さんに改めてお礼申し上げます。

(公益財団かながわ生き活き市民基金理事、生活クラブ生活協同組合 副理事長)

NPO法人 宮ノマエストロ(横浜市) 代表

代表 高橋 裕子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2018年4月

団体の目的・活動内容

地域に暮らす高齢者、青少年・児童及びその 保護者に対し、介護予防・生活支援、子育て支 援に関する事業を行うほか、地域住民の交流を 目的とした集いの場を提供することにより地域 住民の居場所を作り住民が共に助け合う社会を 実現させ、地域社会の福祉の増進に寄与することを目的とする.

活動歴

子ども食堂、地域食堂、ひとり親世帯・生活 困窮者支援事業、ひとり暮らし高齢者支援 事業、横浜市介護予防補助事業、多世代 交流事業、地域交流事業他

団体情報

住所: 〒245-0013

横浜市泉区中田東4-59-41

TEL: 045-884-0246

Mail: 多世代交流スペース 宮ノ前テラス

(miyanomaestro.or.jp)

★助成した事業・活動

地域の小学生と高齢者の交流イベント

★内容

近隣小学校の総合学習と連携した小学生と高齢者の交流イベント企画・開催

★助成対象

物品購入費、イベント謝金、消耗品費、 食材費等

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

生活クラブソーシャルインクルーシブ助成採択 ありがとうございます。この助成事業で地域の 高齢者と小学生をつなぐイベントを開催します。 コロナ禍で行事が中止になったり、縮小したり、地域活動も制限される中、隣の公園も利用して 開催します。

子どもと高齢者が顔見知りになることで、引きこもりがちな高齢者やひとり暮らしの高齢者が外へ出るきっかけを作ります。

高齢者が子どもが企画したイベントに参加することで社会参加への気持ちを持ち、子どもたちも地域に住む高齢者を知り、認知症への理解や高齢者をいたわる気持ちを養えると考えます。

普段の顔見知り関係が緊急時の助け合いになることも同時に目指したいと思います。









キッチンひろば(横浜市)

代表 北垣 美穂 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2021年4月

団体の目的・活動内容

目的:食事提供活動で培ってきた地域住民との交流を維持し、さらに学習支援対象の児童はその家族、友人、さらにはその先の支援の声が届きにくい家族や個人に「キッチンひろば(菊名みんなのひろば)』が行う食支援活動を広く周知することを目的とする。

活動内容:子ども食堂、親子食堂、カフェテリア

活動歴

2021年4月の「港北オープンガーデン」参加に伴い、「菊名みんなのひろば」でお休み処を開催。同年6月より毎月第4日曜日にブランチ提供を始めた。同年12月より前活動グループより子ども食堂を引き継ぎ、第4水曜は親子食堂として提供機会を増やした。さらに毎週火曜のランチ、火曜~金曜の午後はカフェテリアとして、お茶を飲んでも飲まなくても誰でも立ち寄れる場所づくりをめざして活動している。

団体情報

住所: 〒222-0013

横浜市港北区錦が丘17-7 菊名みんなのひろば内

TEL&FAX: 045-294-3691

Mail: hiroba.n177@gmail.com

URL:http://kikuna-hiroba.com/

★助成した事業・活動

食支援事業、コミュニティカフェ事業

★内容

子供食堂、親子食堂、カフェテリア

★助成対象

食材費、謝金、会場費、交通費、広報費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は助成いただきありがとうございました。 2021年12月より「菊名みんなのひろば」で開催する 食支援活動を私共が一手に引き受けることになり、 これまでの活動で培ったことを元手に何とか継続を していました。特に今年からは親子食堂に力を入れ、 様々な年代での交流時間となっています。食事を 作った後、ボランティアの方のギターやピアノ演奏で とても和やかな時間を共有することができています。 コロナ禍においても「菊名みんなの広場」は感染予 防に努めながら閉館することなく活動を続けてきま した。また、地域の民生委員やケアプラザと連携の 一人でも多くの方に私たちの声が届くように日々努 力しています。

今回助成金を頂いたことにより、より多くの方へ呼びかけができ、活動の幅も広がりました。たいへん感謝するとともに、しっかりと活動を継続していきたいと思います。





こども食堂 ハレの日ケの日(横浜市) 代表 鈴木 菜穂子 助成金額 42,000円

団体紹介

設立年月 2019年11月

団体の目的・活動内容

ハレの日(季節の行事やお祝いの日)もケの日 (普段の日)も一緒に過ごせるような場所になりたい という願いを持って、毎月第1、3土曜日にこども食 堂と第2、4土曜日に居場所開放を実施。季節の行 事や食事を経験できるようにイベントを実施する日 と、じっくりとコミュニケーションを取れるような日を それぞれ設けて活動している。また、フードロスへ の取り組みとフードパントリーを合わせた取り組みと して、【ハレケぱんトリー】を開始。

活動歴

2020年1月より毎月第1.3土曜日にこども食堂を開催。同年9月より第2.4土曜日の午後に居場所開放を併せて開催。2021年夏には、夏休み特別居場所開放として、平日週2回を加えて開催し、夏休みの宿題や、工作に取り組めるような場を開催した。2022年3月より、百貨店のベーカリー部門から出る賞味期限間近で廃棄されてしまうパンを、百貨店閉店後の時間帯に配布する【ハレケぱんトリー】を開始。

団体情報

住所: 〒220-2232 横浜市西区老松町54

TEL: 045-262-5770

Mail: harenohi.kehoni.kids@gmail.com

URL:

https://oimatsukids.family.blog/harenohi

-kenohi/

★助成した事業・活動

ハレケぱんトリー

★内容

パンのフードパントリー

★助成対象

ボランティア活動費、運搬費、広報費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

子どもの貧困の3つの課題のうち、①人との関係性と②豊かな経験の貧困については2年間の子ども食堂・居場所開放の取り組みで多くの参加者を迎え、成果を上げてきたと感じています。しかし、③経済的な貧困については、把握が難しく、課題として方法を模索していました。

そこに百貨店より賞味期限間近のパンを寄付したいという申し出をいただき、フードロスの取り組みである点、百貨店閉店後の受け渡しで配布が夜になる点から、生活に困難を抱える家庭の尊厳を傷つける事なく、取りに来やすい環境であると考え、パン専門の「ぱんトリー」を開催する事にしました。

ロコミで広がり、子育て家庭や中学生、一人世帯の方々に毎回40~80個のパンをお渡ししています。 夜で人通りが少ないため、受け渡しの際にコミュニケーションが取りやすく、地域の顔見知りも増えています。また、食堂への理解も深まり、地域の居場所としての認知も上がっていると感じます。







特定非営利活動法人 ラブネイバーズ(横浜市) 代表 西村 内弘 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2006年1月

団体の目的・活動内容

地域社会のなかで手助けを必要とされている方々が、生きがいのある平安な生活を築けるように支援する活動を行い、もって地域福祉の発展に寄与することを目的としている。現在の主な活動内容として、次の日本を担う子どもたちの居場所づくり、活躍の場、心身共に健康な発達のための場の提供をしている。その方法の1つとして子ども食堂に取り組み、子どもだけでなく、その家族や地域のニーズにこたえ、地域社会を巻き込みそれぞれが生きがいを感じる場の提供を目指している。

活動歴

2006年 法人格取得・事業開始・NPOミッション

カナン設立

2008年 フィリピン短期支援

2011年 東日本大地震支援(石巻市)・赤い羽根

共同募金

2012年 タイのスラム街で活動する「チルドレンセンター」の支援を開始・石巻ラブネ祭を開催 香港の教育機関の支援

2015年 ネパール大震災救援活動

2016年 Watoto childrens chair 日本国内

活動サポート

2017年 みんなdeごはん(子ども食堂)開始

団体情報 URL:

http://loveneighbors.jp/wp/

https://www.facebook.com/minnna.de.gohann

★助成した事業・活動 子ども食堂「みんなdeごはん」

★内容 お弁当提供

★助成対象 食材費、物品購入費、消耗品費、会場費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍で活動が休止していたこども食堂ですが、2022年から感染対策を徹底し、お弁当提供という形で再スタートしました。実際スタートすると「まっていました!」と今まで来てくださっていた子どもたちやご家族が喜んで参加してくれました。また新たな利用者も加わり、子育て中の親御さんのちょっとした心のよりどころになったり、お弁当の受け取りの際にちょっとしたおしゃべり場になったりしています。「地域にニーズがあるんだ」と感じています。もう一度始めてよかったと感じています。今回けた助成を活用し、より多くのニーズにこたえられるよう、必要器具を購入したり、感染対策グッズを購入し、よりよい、より広い人々へ、より安心なこども食堂を開いていきます。









満福うえのまち食堂(横浜市) 代表 青木 あゆみ 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2016年3月

団体の目的・活動内容

【食堂】近隣住民を対象とし、地域の孤食所 消やつながりの生まれる居場所を目指す。 地域の孤食解 地域の自治体や協力団体と連携し、学校の長 期休み期間中に体験を提供するイベントを

企画・実施。 【フードパントリー】フードロス削減とコロ ナ禍の影響を受けた社会的弱者の支援のリンク。また、コロナ禍で高まった支援意識の受け皿として社会参加の機会を提供し、 地域に助け合い文化を醸成したいと考えて

活動歴

- 横浜上野町教会をお借りして月2回大人300円こども0~100円で、誰でも利用できる地域食堂をオープン。近隣にお住いの親子や高齢者にご利用いただく。2020年2月コロナ禍で活動を休止。同年5月より月2回誰でも利用できるフードパントリ
- -を開催。
- ・2021年9月より利用を登録者のみに変更し 毎月第1・3火曜日開催。ひとり親家庭・障害のある方・外国籍の困窮者・高齢者に利用 いただいている。

団体情報

活動場所: 横浜上野町教会

横浜市中区上野町2丁目54

045-622-8330(横浜上野町教会) TEL:

090-8376-6959(代表・青木) ※ Facebookページ「満福こども食堂」

★助成した事業・活動

満福うえのまち食堂・フードパントリー

★内容

ひとり親家庭・障がいのある方・外国籍の困 窮者・単身高齢者を対象とした食支援

★助成対象

会場費、運搬費、消耗品費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

2020年2月食堂を休止。それまでのつながりを活 かし、経済状況が変化した世帯支援のため始めた フードパントリーでしたが、2022年現在も支援を必 要とする利用者は増えています。コロナ禍で潜在的 にあった様々な事情があぶりだされたのでしょうか。

一方で、コロナ禍以降、企業や団体だけでなく近 隣住民等個人からの寄付・支援が以前より増え、私 共の活動の助け合いの窓口として機能していると実 感することができました。緊急支援的に始めたフー ドパントリーでしたが、食堂再開後も継続することに なりそうです。

この度の助成金は、主に食品の搬送経費、保管 場所の利用料及び冷凍冷蔵庫使用の光熱費に充 てさせていただいております。今後ともご支援、ご指 導を頂けますよう お願い致します。





認定NPO法人 あっちこっち(横浜市) 代表 厚地 美香子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2011年8月

団体の目的・活動内容

芸術で社会貢献活動ができる仕組みを創ります。その為に若手アーテイスト育成と活動の場を創出します。主な活動に、被災地支援カフェコンサート、芸術普及と地域社会をつなぐ子どものためのワークショップ、小学校でのワークショップ(横浜市芸術文化教育プラットフォーム)などがあります。 などがあります。

活動歴

・地域に寄り添った芸術イベントの制作

・学校でのアウトリーチ活動や子どもの芸術 体験の創出

音楽とお菓子を一緒に届ける被災地支援 活動

・芸術を通した国際交流事業

団体情報

住所: 〒276-0852

横浜市中区西竹之丸61-5

TEL: 090-1291-1308 Mail: info@acchicocchi.com

URL: https://www.acchicocchi.com/

★助成した事業・活動

親子で楽しむ♪子ども食堂とアート体験

★内容

★助成対象

食材費、謝金、通信・運搬費、広報費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は貴重な助成に当団体の事業をお選びいただき、ありがとうございます。私たち、認定NPO法人あっちこっちでは、「親子で楽しむ♪子ども食堂とアート体験」という事業を、横浜市寿町健康福祉交流センターで月に1度実施しています。

子育てが忙しい世代のお父さんお母さんは、子どもと一緒にリラックスして過ごす事は勿論、食事を共にとることすらかなわないという現状を耳にします。私たちはそうしたご家庭における親子の深い絆を感じられる機会を提供します。プロの音楽家による生演奏を聴いたり、美術家の指導のもと絵を描いたり、工作をする約1 時間の芸術体験と、地場産の新鮮野菜を使用した手作りの料理を味わえる場を提供しています。

当事業の食堂スタッフは、引きこもり等社会に生きづらさを感じる若者が中心となってメニュー考案から調理まで担っています。嬉しいことに、こうした活動は彼らにとって大きな生きがいとなっています。 この度いただいた助成金は、そうした地元の若者に対しての調理謝金と食材購入費を中心に大切に使用させていた。

せていただきます。









横浜朝鮮初級学校 才モニ会(横浜市) 代表 権 玲珠 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2021年4月

団体の目的・活動内容

横浜朝鮮初級学校オモニ会とは、横浜朝鮮初級学校に子供を送っているオモニ(お母さん)達が運営する保護者会です。1日給食(こども給食)事業や校内イベントの組織などの愛校事業や、キムチ販売事業、朝鮮学校を広く宣伝する為の対外事業などを行っております。

中でも1日給食事業は古くから継続して行われている事業で、学期に数回オモニ達の 手料理を子ども達に振舞っていて、子ども達と保護者の大切な交流の場になっています。

活動歴

一日給食事業、愛校事業、キムチ販売事業、 朝鮮学校を広く宣伝する為の対外事業、 オモニ交流事業

団体情報

住所: 〒221-0844

横浜市神奈川区沢渡21 横浜朝鮮初級学校内

TEL: 045-311-4966

★助成した事業・活動

オモニ会による一日給食

★内容

朝鮮学校に通う子どもたちへの給食の提供

★助成対象

食材費、消耗品費、広報費、運搬費等

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

朝鮮学校では給食が行われていません。給食を行う財政的・人材的余裕がない為であり、それは学校に対する行政からの一切の補助がない事に起因しています。それにより学校のお昼ご飯は各家庭毎に準備するお弁当であり、中には家庭の事情によりコンビニ弁当などの子ども達も少なくありません。その様な朝鮮学校の子ども達に、オモニ達の手料理を振舞い、温かい家庭の味・民族の味に触れられる様にと、古くから定期的な周期で一日給食(子ども給食)事業は行われています。

この様な朝鮮学校の一日給食事業は全て無料提供であり、その財源はオモニ会の様々な独自事業による収益を財源としております。オモニ達が近隣の方々にキムチを販売したり、1年に1度近隣の住民の方々や同胞などを集めて行われるお祭りにて販売する屋台の収益金などがそれにあたります。

しかし、コロナ禍によりお祭り事業などが行えない事からオモニ会の財源はひっ迫しており、それにより子ども達の一日給食が定期的に行えていませんでした。その様な状況の中で、今回、本助成金を初めて受ける事になりまして、大変嬉しく思います。心より感謝申し上げます。





南武朝鮮初級学校 才モ二会(川崎市) 代表 兪 美代助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

1946年11月

団体の目的・活動内容

南武朝鮮初級学校オモニ会は、南武朝鮮初級学校に子供を送っているオモニ(お母さん)達が運営する保護者会のことを言います。子供達が学校生活を楽しく過ごせるように、図書室の管理やクラブ活動の援助、子供たちに必要な備品、給食等いろいろな活動を行っています。中でも1日給食事業は古くから継続して行われている事業で、学期に数回オモニ達の手料理を子ども達に振舞っていて、子ども達と保護者の大切な交流の場になっています。

活動歴

オモニ達の1日給食(こども給食)事業や校内イベント活動、愛校事業や、キムチ販売事業、朝鮮学校を広く宣伝する為の対外事業や権利獲得のための運動など幅広い活動を行っています。

団体情報

非公開

★助成した事業・活動 オモニ会による一日給食

★内容

オモニ会による子ども給食

★助成対象

食材費、消耗品費、印刷製本費、運搬費、 物品購入費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

助成金ありがとうございます。朝鮮学校は学校なのに援助をもらえない厳しい状況の中、運営をしています。その中でもオモニ(母親)達の頑張りで子供達に何ができるかいろいろ切り詰めながら活動をしています。学校に給食がなく各自お弁当やコンビニの昼食をとっている中、たまには暖かくおいしいものをと、定期的に1日給食を行ってきました。しかし給食をするにあたり、調理をするにも道具を家から持参したり大変困難な中活動をしていました。この度の助成金のおかげて、少しづつですが新しく備品も整え、メニューも少し豪華になると思います。同時にオモニ会のメンバーも大変喜んでいます。本当にありがとうごさいました。助成金を子供達のために、大事に使わさせていただきます。









川崎朝鮮初級学校 オモニ会(川崎市) 代表 申 承宣 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 1970年4月

団体の目的・活動内容

川崎朝鮮学校に通う子ども達が健やかに育つよ うに、その環境作りに努めています。

本校が様々な理由で日本の補助制度から除外さ れる中、学校を維持・運営するための様々な活動を 行っています。

また、地域の日本の方々に朝鮮学校について理 解をしていただく為の活動、地域で行っている様々 なイベントへの参加を通して、一緒に作っていく街づ くりを心掛けています。

活動歴 学校給食の提供・絵本の読み聞かせ・ 各種イベントでの物品・食品出品

団体情報

TEL:

住所:

川崎市川崎区桜本2-43-1 044-266-3091

kawasakikorean_s@yahoo.co.jp Mail:

★助成した事業・活動 一日給食事業

★内容

朝鮮学校に通う子どもたちへの給食の提供

★助成対象

食材費、物品購入費、消耗品費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

川崎朝鮮初級学校オモニ会は、本校に通う子ど も達の健やかな成長の為に保護者である母親達で 結成された団体です。

給食がなく、お弁当を持参の子ども達に温かいお 昼ご飯をと、給食を提供したり、子ども達に絵本の 読み聞かせをしたりと色々な活動をしています。

フリマやバザーで財政を作っていましたが、コロナ コロナ禍でできなかったことが多く保護者の財政的 な負担が大きかった中、今回の助成をいただけてと ても助かりました。

これからも、子どもたち為に頑張っていきます。 本当にありがとうございました。







あさみぞみんなのコミュニティ(相模原市) 代表 中台 雪惠 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2017年8月

団体の目的・活動内容

十分な食事をとれない子どもや一人で食事をしている子ども、あるいは独居の高齢者への食事支援など地域でサポートすると同時に、異世代交流の場を提供する。

活動を通じて子どもやその保護者等と信頼関係を構築するため、地域住民が一体となって支援することで、世帯が抱える生活課題を把握し改善していく。

活動歴

- ・ 2017年8月に、麻溝地区で子ども食堂を中心に、 地域における交流の場の提供を目指しグループを 結成。地域のボランティアの協力も得ながら、食事 の提供のほかに無料ワークショップ、幼児へのお話 会や絵本の読み聞かせなどの学習支援実施。
- ・2020年からはコロナ感染症の影響を受け、お弁当の配付やフードパントリー開催。
- ・2021年後半からは食堂を月2回・コミュニティカフェを月3回実施。

団体情報

住所: 〒252-0335 相模原市南区下溝2103-25

TEL: 070-8400-0394

Mail: asamizo.community.180701@gmail.com

URL: https://www.sagami-

portal.com/hp/dnt10113//hp/dnt10113/

★助成した事業・活動

あさみぞみんなの食堂・コミュニティカフェ

★内容

子どもから高齢者まで対象とした地域コミュ ニティ事業

★助成対象

食材費、消耗品費、交通費、印刷費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

4月のあさみぞみんなの食堂は、子ども食堂ネットワークむすびえからのご紹介で辻水産株式会社からご提供いただいた、鯛のハンバーグと塩焼きをメインとしたお弁当を配布しました。また同時にフードバンクかながわや相模原農業協同組合から頂いた食材や日用品のフードパントリーも実施、参加した皆様からはたいへん喜んでいただきました。

コロナ禍でなかなか出かける機会が少ない中、こうした場所があるととてもありがたいとのお声をお寄せいただきました。鯛のハンバーグは初めて食べたという声や、塩焼きの鯛も味付けが上手にされており、魚が嫌いなお子さんからもおいしかったという声を頂いております。







NPO法人てらこや食堂ラッキーズ(相模原市) 代表 石井 とし子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2019年11月

団体の目的・活動内容

相模原市の近隣の子どもを対象に、栄養価の高い食事に加えて、進学するための学習指導と、学習する場所を提供することで「貧困の連鎖」を断ち切り、子ども達が夢と希望をもって心身共に成長していける社会の実現に寄与することを目的としています。

活動歴

- ・2019年11月てらこや食堂ラッキーズを開設
- ・2020年9月 NPO法人資格取得 現在に至る 毎週平日 午後4:30~6:00学習時間 6:00~7:00食事と後片付け時間

団体情報

住所: 〒228-0803

相模原市南区相模大野6-15-27

TEL: 090-2324-3394
Mail: tsluckys1@gmail.com
URL: ishiitoshiko.com

★助成した事業・活動

寺子屋食堂ラッキーズ

★内容

無料学習支援と食事提供

★助成対象

食材費、消耗品費、ボランティア交通費、通信費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は助成金を誠にありがとうございます。弊所は現在子供13名、学習支援ボランティア15名、食事支援ボランティア13名で活動しております。学習指導と食事提供を無料で併設して、毎日月~金で開催している子ども食堂は少ないと伺っております。学習指導の先生方と、食事作りの方たちの絶妙な連係プレーでどうにかやっておりますが、なんといっても経費ねん出が大きな課題ですのでこの度のご支援は本当に助かります。

子ども達は互いに仲良くなって、日がたつに従って成長しているのがよくわかります。ボランティアの人たちも、この活動を通して学ぶことも多く、生きがいを感じながら楽しく働いています。









「あいおい」みんなの食堂(相模原市) 代表 佐藤 純子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2016年5月

団体の目的・活動内容

2015年、相模原市の中で中央区の貧困率が一番高いという現状を知り、子供たちの貧困問題を解決するためにこども食堂を立ち上げました。現在は新型コロナウイルス感染拡大の為に月2回の相模原 市や社会福祉協議会にもご協力いただきながら フードパントリーを行っています。

活動歴

- ·2016年5月~第2·4金曜日 2回/月 大人300円 こども100円 食事提供
- ・2020年6月~食糧配布(不定期 土曜日)
- ·2020年10月~第2·4金曜日 2回/月 食糧配布 無料

団体情報

住所:

〒252-0235 相模原市中央区相生3-9-23 (生活クラブ相模原センター2階)

08054136581(代表佐藤) TEL: Mail: aioiminnanosyokudou@gmail.com

URL:

facebook: あいおいみんなの食堂 検索!

★助成した事業・活動

フードパントリーと子ども・子育て支援

★内容

子どもたちとおにぎりを作って食べる企画

★助成対象

食材費、物品購入費、交通費、運搬費、 消耗品費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナが続き、みんなでご飯を食べることがなくなり、さまざまな家庭の事情があるとは思いますが、パントリーのみの活動では子どもたちの様子が見えずらくなっていることに気づかされました。

コロナが終息したら、食堂を開始しようと考えていましたが、月1回の会議を行い、私たちに今できることはなにかと考え、食堂に来た子供たちにおにぎりの作り方を伝えられたらいいなと思いました。おにぎ りを作る作業を通し、コミュニケーションをはかり、地域に信頼できる大人がいることを感じることができて いたらと思います。

コロナが落ち着いてきたので、6月から開始する予 定です。

今回助成を受けるにあたり、幅広い柔軟な対応が できたことで、活動の幅が広がりました。みなさまの 大切な思いを受け止めて、大切に使わせていただき ます。



みんなの居場所ようこうだいパプリカ(相模原市) 代表 岡見 益義 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2020年7月

団体の目的・活動内容

「こども食堂」を通して地域のこども・高齢者・さま ざまな家族等が食の大切さ、楽しさを学び、会食前 後の遊び・学習・世代を超えたコミュニケーションの 場、居場所を提供することで、こどもたちが地域と関 われる環境をつくること。

活動歴

- •2020年7月 準備会を立ち上げる。
- •2020年11月 プレオープン
- ・2021年2月から月1回の開催(8月は2回)

団体情報

住所: 〒252-0226 相模原市中央区陽光台

TEL: 080-5177-0757(岡見) LINE公式アカウント(ようこうだい パプリカ)

★助成した事業・活動

こども食堂「みんなの居場所ようこうだいパプリカ」

★内容 こども食堂

★助成対象

食材費、物品購入費、消耗品費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

今年から助成を受けることができました。誠にあり がとうございます。

こども食堂を始め1年半になりますが、来ていただ ける方達も増え、会場も公民館だけでしたがこども センターでも開催するようになりました。コロナ過で お弁当の配布をしていましたが、感染者も落ちつい てきたので、本来の目的である、みんなの居場所と しての活動も始めていきたいと思っています。









なかよし大船こども食堂(鎌倉市) 代表 小柴 洋子 助成金額 87,000円

団体紹介

設立年月

2017年5月

団体の目的・活動内容

子供の貧困化が社会問題になっている現状に 鑑み子育て支援の一助として、子供食堂を開設 致しました。

(毎月第2木曜日 17:00~19:00)

活動歷

2017年よりコロナ禍までビュッフェ形式の 食堂,以降弁当配布・食材配布と状況に 応じて活動を続けております。

団体情報

住所: 〒247-0056

鎌倉市大船2-1-34

TEL: 0467-45-0039

携帯電話 090-9681-3770 Mail: mtominaga@topaz.ocn.ne.jp

★助成した事業・活動

なかよし大船こども食堂

★内容

こども食堂

★助成対象

物品購入費、食材費、運搬費、ボランティア活動費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

なかよし大船こども食堂は、コロナ禍以前は100人ほどが集うビュッフェ形式の食堂として活動しておりました。コロナ禍の状況が落ち着いた時はお弁当配布、状況が厳しさを増すと食材配布と形を変えながら5年間続けてきました。

しかしながら、運営上はボランティアの奮闘だけでは立ち行かないこともあります。幸いなことに今回このような助成を頂きましたので、かねてよりスタッフの強い味方大容量2升炊きの炊飯器や調理器具、保護者からのアンケートに基づいた要望による食品の購入に充てさせていただきました。

今後とも、将来を担う子供たちが楽しく過ごせる 時間と居場所を提供し続けられるように努めてまい ります。皆さまの暖かいご配慮とご支援に心より御 礼申し上げます。





ドリームセンターこどもカフェ(藤沢市) 代表 藤村 良彦 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2005年4月

団体の目的・活動内容

親睦と子供たちの健康的な成長を目的として活動が始まる。2017年1月より毎月1回子供たちの夕食を無料で提供する「こどもカフェ」を開始。2019年より生活困窮者への食糧の提供を始めました。

活動歷

- -月1回子ども食堂
- ・月1回食料配布 (フードパントリー臨時対応あり)
- ・春・夏子どもキャンプ主催
- ・春・夏・冬子どもイベント開催

団体情報

住所: 〒251-0052

藤沢市藤沢545-48-101

TEL: 090-1052-1730 Mail: f-olive@d3.dion.ne.jp

★助成した事業・活動

子ども食堂、フードパントリー

★内容

こどもカフェ、子どもイベント、デイキャンプ

★助成対象

食材費、物品購入費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は子ども食堂とフードパントリーのため、ご支援を感謝いたします。それぞれ6回分の食材購

入のため用いさせていただきます。食材を受け取られる方々の多いご要望が肉・魚等ですが、助成金を利用して購入する費用の一部とさせていただきます。

また、食材を必要としている方々にここに来れば必要な食材を受け取ることができるということをお

伝えするためのバナーを作成し、必要としている方々 にお届けできるように準備していきます。知ら

ないために苦しんでいる人たちを少しでも減らすことができるようになると思っています。

そして、集まる場所が安全な場所であるための除菌、 抗菌を行う薬品を購入させていただき、子どもたちが笑 顔になれる場所造りを進めてまいります。

いただいた助成を通して、子どもたちが笑顔になり、 そのご家庭が少しでも前向きに日々を過ごすことがで きるようになることを願っています。



モンドこども食堂(藤沢市)

代表 古沢 康子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2021年4月

団体の目的・活動内容

社会的・経済的弱者である子ども・高齢者・障がい者を中心に、地域の方全員が参加できる「楽しい食事の場」「地域の方々の居場所・交流の場」の提供を目的として、こども食堂を開催。

活動歴

- ・毎月第3土曜日11時~14時、子ども食堂を 開催。緊急事態宣言下・感染拡大状況下で も感染対策や実施方法を工夫(お弁当配布 に変更)して休むことなく開催。
- ・ワークショップの実施。
- ・寄付品・寄付食材の配布の実施。

団体情報

住所: 〒251-0871

藤沢市善行3-14-7 モンド湘南藤沢内

TEL: 0466-53-9142

Facebook(モンドこども食堂)・Instagram (mondo.kodomo)

★助成した事業・活動

モンドこども食堂

★内容

子ども・高齢者・障がい者等、地域の方に向けた 「楽しい食事の場」「地域の皆さんの居場所」の提供

★助成対象

食材費、物品購入費、消耗品費等

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

昨年4月のコロナ禍の中、障がい者通所施設内のカフェを利用し、月1回のこども食堂を始めました。最初は、「何人来てくれるのだろう」と思っておりましたが、50人以上の参加がありました。その後、回を重ねるごとに参加人数が増え、昨年末には100人を超えるようになりました。シングルマザーの親子、若いファミリー、子どもだけなど、様々な方の参加をいただいております。

手作りの食事提供を第一にと考え、ボランティアさんたちと食事を作り開催しています。コロナ感染者の増加に伴い、昨年8月・9月、今年の1月~3月はお弁当の配布としながらも、休むことなく開催してきました。最近では、地元町内会にも活動を認めていただくことができました。

お弁当にすると容器代の負担が重くなりますし、現在では 100名近い方が毎回参加してくれるため、寄付の野菜や食材 だけでは不足してしまうので、助成金はとても助かります。

今後も「地域の方々の交流の場・居場所」としての一助となれるように活動していきたいと思っております。助成金を有意義に活用させていただきます。本当にありがとうございました。









医療生協かながわ 瞳班(藤沢市) 代表 小林 弘恵 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2018年年11月

団体の目的・活動内容

地域の助け合い支え合い、居場所づくり

活動歴

- ・2019年7月より月1回の地域食堂「六会ご縁食堂」を開催。会場は「坊さんキッチンen」 藤沢市亀井野1-8-15 2F。無料または低額 で食事やおしゃべりのできる場所。
- ・コロナ禍のため2020年3月より弁当、食材の テイクアウト、受取りに来られない場合は配達 の形で、月1回の継続開催を行っています。 食材は主にフードバンクかながわから提供を 受ける他、地域の方々から野菜や米、乾物の 寄付があります。
- ・現在の利用者は、ブログ、インスタグラム から申し込みのあった方、藤沢市社協CS Wから紹介の方がほとんどで、20世帯40 人程の方に利用いただいています。

団体情報

『LINE公式アカウント』

『Instagramも』





★助成した事業・活動 「六会ご縁食堂」

★内容

弁当と食材のテイクアウト、配達

★助成対象

運搬費、食材費、物品購入費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は助成いただきありがとうございます。コロナ禍にあって会場での飲食を中止し、テイクアウトや配達に方法を変更して取り組んでいます。4月からの半年間においても、しばらくはテイクアウトや配達で対応せざるを得ないのではと考えています。

この2年間で利用希望の方は増加しており、コロナ禍の生活への影響が懸念されます。主にラインや電話で申し込みを受けますが、手作り弁当が楽しみにされていることや、米や乾物を中心にした食材提供が待たれていることを実感しています。月に僅か1度であっても、顔を合わせて労いあったり、ラインでのやり取りで繋がりを継続できていることを喜びとしています。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。





長後こども食堂(藤沢市)

代表 高見 広海 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2017年1月

団体の目的・活動内容

地域活性を目的とし、こども食堂を通じて地域の 孤食孤立解消、多世代交流、生活困窮者への支援 を図っていく。

活動歴

- ・毎月第一日曜日 11:00~15:00 の月1 回の開催でしたが、2021 年3 月より毎週水曜日 18:00~20:00 も開催し現在は月5~6 回開催しています。その他に節分やハロウィンの際にイベントを開催したり、近隣地域へ出張こども食堂を開催したりもしました。
- ・昨年のコロナ禍では、夜ご飯支援、昼ごはん支援 としてほぼ毎日こども食堂を基本テイクアウト形 式で行いました。
- ・2020年1月1日からは新たな試みとして、地域の 孤食孤立解消の一環で、毎年元旦に長後にある コンビニの前で炊き出しを行なっています。

団体情報

住所: 〒252-0802 藤沢市高倉641-5 特定非営利活動法人 ことりのおうち

TEL: 080-3428-8792

Mail: aqua_hirou.mi.kuto@softbank.ne.jp

★助成した事業・活動 長後こども食堂

★内容

地域住民に向けた交流の場づくり、会食形式による食支援

★助成対象

食材費、物品購入費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

「ユーコープ 子ども食堂・地域食堂助成」に引き続き助成していただき、ありがとうございます。

新年度が始まり新たな生活環境に飛び込む人も 少なくないこの時期、慣れない学校生活や職場、新 しいクラスに同僚、色んなことで悩みが増える時期 だと思います。当こども食堂に来ている方の中にも、 きっとそんな方たちがいるかもしれません。

その方たちが少しでも息抜きできて安心していられる居場所として、これからも食堂を通じてコミュニケーションを取りながら遠慮せずお腹いっぱいご飯を食べてもらえるよう、活動していけたらと思います。

4月~9月の期間、かながわ生き活き市民基金様の繋げて下さった助成を多くの人たちや街のために使い、より良い地域作り、居場所作りをしていけるように頑張ります。







幸町こども食堂おいしいね(茅ヶ崎市) 代表代行 金丸 知奈 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2019年6月

団体の目的・活動内容

子供が地域の中で見守られ、安心してご飯を食べることができる場所づくり。

子供だけなく、子育てと仕事、子育てと介護など、 時間に追われ忙しい保護者の方、学生や地域高齢 者の方々を応援し、支えたいと思っています。

活動歴

2019年6月から食堂開催。コロナ禍になり、テイクアウトに切り替え、制限解除時は食堂と並行し運営していました。

団体情報

活動場所:最後の50セント(第一木曜日)

茅ヶ崎市幸町24-6

野菜プロジェクト開催日:第一木曜 申込先:saiwaikodomo@gmail.com

ご寄付など受付先 saiwaikodomo2@gmail.com

★助成した事業・活動

「キッチンカーでこども食堂」in 柳旅館

★内容

こども無料のキッチンカー

★助成対象

食材費、会場費、消耗品費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

幸町こども食堂は、コロナ禍でも2020年3月には 早々とテイクアウトに切り替えたり、規制緩和になれ ば食堂を運営し、子ども食堂を継続してきました。こ の2年で利用者は増え、確実に必要とされているこ とを実感しています。いただいた助成金は活動費の 他、地域の農家さんの助けにもなるお野菜プロジェ クトに使わせていただく予定です。この取り組みは、 茅ヶ崎青果地方卸売市場と協力し、余ってしまった 野菜を安価で買い取らせていただき、利用者の 方々に配布しています。(登録制)微力ではあります が、これにより、市場の野菜の価格が安定し、農家 さんも助かり、フードロス削減にもつながる仕組みに なっています。

4月からは本格的に食堂も再開します。今後も需要は多くなっていくと思うので、時代と共に必要とされることを考え、支援していきたいと思います。



なでしこ放課後食堂(平塚市) 代表 佐藤 由美子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2019年8月

団体の目的・活動内容

子どもや高齢者の孤食を防ぎ、地域コミュニティを活性化させ持続可能な街づくりに繋げる。まずは自分たちの地域で活動することにより一人でも多くの方々に世の中は捨てたものじゃない!この地域に住んで良かった!と思ってもらえ、生きる希望になってもらえればと思う。

活動歴

2019年11月~2020年2月 11月21日オープン(場所:花宴) 月1回第3木曜日開催 2020年3月~5月 コロナで小、中学校一斉 休校のため食堂閉鎖。その後、会議を重ね 終息するまでフードパントリーに切り替え 2020年6月~2022年1月現在までお米や食材 食品などを配布するフードパントリーやテイクアウトお弁当(一律100円)を販売開催している。月1回第3火曜日開催に変更

団体情報

活動場所:花水台会館(平塚市花水台36-15)

TEL: 090-5784-0772

Mail: satou.yumiko2019@gmail.com(代表 佐藤)

URL:

https://www.facebook.com/102913021154014/po

sts/709999420445368/

★助成した事業・活動

子ども食堂 地域コミュニティ食堂

★内容

フードパントリー、テイクアウトお弁当販売

★助成対象

食材費、物品購入費、消耗品費、運搬費、 ボランティア交通費等

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

子どもからご年配の方々まで食を通したコミュニ ティの場を提供したくて2019年8月に団体を設立し、 その年の11月にオープンしました。しかし4回開催 後コロナにより活動をフードパントリーに切り替え臨 機応変にやってまいりました。、昨年12月からは フードパントリー+テイクアウトお弁当ー律100円販 売を始め、お弁当は開始15分で70食完売になって しまう現状。その中には生活困窮者やシングルマ ザー、兄弟が6人いる家庭、生活保護受給者も来て います。地域の協力もいただき開催しているので、 民生委員や自治会を通し、チラシを生活困窮者の 方に配っていただいています。この助成で、特にご 寄付をくださるNPOや市外へ食材や食品などを取 りに行く交通費、ガソリン代を出せることは、スタッフ の持続可能なボランティア活動に繋がるので、本当 にありがたいです。今後も地域の方になくてはなら ない場所であり続けるため、助成金をありがたく使 わせていただきます。



金目OK食堂(平塚市)

代表 杉山 昌子 助成金額 50,000円

団体紹介

設立年月 2019年2月

団体の目的・活動内容

食堂の利益の中での子育て支援の一貫としてのこども食堂運営

活動歴

月に1度のこども食堂開催

団体情報

住所: 〒259-1201

平塚市南金目716-4 金目OK食堂

TEL: 0463-57-7296

★助成した事業・活動 ^{金目OK食堂}

- **★内容** こども食堂
- **★助成対象** 食材費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

マスコミなどでこども食堂を知り、面白そうだなという気持ちと私にも出来るかもしれないという軽い気持ちで始めた「こどもOK食堂」ですが、今回生活クラブ様のご支援を頂ける事となり、私だけではなく沢山の方の想いを請け負ったという新たな気持ちでおります。コロナ禍でこども食堂の需要が高まってると聞きますので、しっかりと役目を果たして行きたいと思います。





にのみやこども食堂便(二宮町) 代表 片木 康子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2020年4月

団体の目的・活動内容

設立当初は子供たちの食に対する支援として、 学校給食が止まった時期にお弁当を届けること から始まった。その継続事業としてフードパン トリーを開設、生活困窮世帯への支援を、町社 協や他の子ども食堂団体と連携しながら活動し、 今回の朝ごはんキャンペーンに繋がっている。

活動歴

弁当の配布、フードパントリー、フード ドライブ、困窮世帯への支援

団体情報

住所: 〒259-0123

神奈川県中郡二宮町二宮133

TEL: 090—3297—2292 Mail: <u>ein03stein1649@ozzio.jp</u>

★助成した事業・活動 学校と繋がる「朝ごはん子ども食堂便」

★内容 朝ごはん提供、フードパントリー

★助成対象 食材費、謝金、運搬費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

2022年の年明け、教育関係の集まりの中で、朝ごはんを食べないで学校に来る子供が増えているとのスクールソーシャルワーカーからの情報に、危機感を持ったメンバーや有志が朝ごはんキャンペーンを企画。早速3月に、学校の許可を得て児童数の少なく地域が使える教室のある一色小学校内で児童15名(事前申し込み)に、朝ごはん(町内弁当業者製造のおにぎりと唐揚げのセット)を無料で提供した。この企画は大変好評で、朝ごはんを食べることの大事さを伝えるキャンペーンとして二宮町内の各学校にも2022年度の企画として広げていきたい。今回頂いた助成金は朝ごはんキャンペーンの企画(チラシ配布)・実行(弁当運搬、こどもの見守り)及び日曜を除く毎日の午後開設しているフードパントリー・フードドライブの運営経費に充てさせて頂きます。



アゲイン(二宮町)

代表 宮内 晴美 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2019年4月

団体の目的・活動内容

居場所つくりから始まったアゲイン(旧名・地域福祉を考える会)は子供から高齢者まで食の課題に取り組んでいました。

活動歴

コロナ禍以前は百合が丘団地の集会場を利用し 夏休み期間、毎週1回、子供たち対象に昼食の提供・宿題の手伝いを企画。その後公共で使える場所 を探し、町民センター調理室で「みんなの食堂」を開催。

2022年コロナ禍、食堂の実施が困難になり、2021年は殆ど毎月の運営委員会で情報交換に終始しましたが、2022年に入り空き家利用というチャンスに恵まれ、4月より「みんなの食堂」が再稼働し始めています。

団体情報

住所: 〒259-0123 中郡二宮町二宮

TEL:090—9201—3880(宮内) Mail: haru6miya@au.com

★助成した事業・活動

「みんなの食堂」

★内容

子どもたちへの食事の提供

★助成対象

食材費、物品購入費、会場費、消耗品費等

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

2022年1月、空き家一軒の利用がオーナーの好意で月1回からの利用が可能になり、3月には試作、4月からスタートし始めました。炊飯器、鍋、などの調理器具を揃えたりが必要で、できる範囲のメニューから開始。当初は持ち寄りしながら補助金を利用し買い揃えています。20名限定でインスタグラム、FBを利用し募集したところ持ち帰りもあり、完売でした。





NPO法人 ハレルヤ(二宮町) 代表 牧 岳司 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2020年1月

団体の目的・活動内容

- ・目的:地域の子育て世代への支援・生活困窮 者への食料提供
- ・活動:毎月第1・第3日曜日 午後2時~3時に 食料提供を行っています。

活動歷

- -2019年7月~8月 第1回 子ども食堂ハレルヤ キッチン 開始
 - 12月 第2回子ども食堂ハレルヤキッチン
- ・2020年3月 第3回子ども食堂ハレルヤキッチン 4月~ 毎週金曜日 子ども食堂ハレル ヤキッチン 開始
- ・2021年 1月~現在 フードパントリー山西フー ドバンク 活動開始

団体情報

住所: 〒259-0124

神奈川県中郡二宮町山西358-4

TEL: 0463-71-2167

FAX: <u>nycc-jesus@outlook.jp</u>

URL:

https://nycc-jesus.wixsite.com/hallelujah

★助成した事業・活動 山西フードバンク

★内容

食品・野菜などの食料配布

★助成対象

食材費、広報費(チラシ、のぼり旗)

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度、当団体の活動への助成をいただけますことを感謝しております。私たちは子ども食堂から活動を始めましたが、現在、新型コロナウイルスの感染対策から活動を休止する中で、フードパントリーを始めました。毎回30名程度の方々が利用してくださっていますが、私たちが提供できるものには限度があります。今回の助成金を用いて、より多くの方々に食品の提供をさせていただきたいと願っております。また、新型コロナウイルスの感染が収束した時には、子ども食堂も再開していきたいと願っております。











子育で相談サロン ままカフェ(厚木市) 代表 山田 啓子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2017年5月

団体の目的・活動内容

自分が出産、子育てをする中で、体調不良やメンタル的な不安を経験した。その時、誰かに頼りたかったが、実家も遠く、頼れる人が近くにいない辛い期間を過ごし、「自分と同じ経験者を増やしたくない」という想いから活動を始めた。

市内各所にてコミュニティ運営をしており、母親たちのお悩み相談や子育て講座などを提供し続けている。

活動歴

- ・子育て相談サロン運営
- 母親向けイベント開催
- ・子ども食堂・おやこ食堂の開催

団体情報

住所: 〒243-0035

厚木市愛甲2-18-23

TEL: 090-2563-4739

Mail: withmammy@gmail.com

★助成した事業・活動

オンライン子ども食堂

★内容

オンラインによるママたちの繋がりの場づくり

★助成対象

食材費、イベント講師謝金、消耗品費、 広報費、交通費、会場費、謝金

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

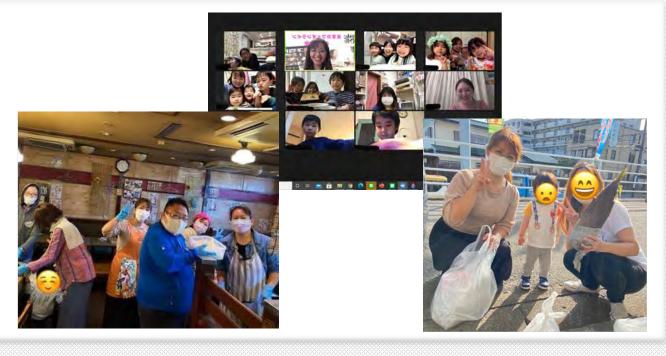
子ども食堂を開催した時、受け取りに来た方から「コロナで収入が減ってしまった中、こちらで頂く食材に本当に助けてもらいました。ありがとうございます。」 そんな声を頂くことができました。

コロナも落ち着き始め、リアルでの講座も復活しつ つありますが、やはり子ども食堂の活動が役に立っ ているのを肌で感じています。

子どもが小さくても、日が沈んだ時間でも、オンライン子ども食堂講座で子どもたちの笑顔を作れる。 母親たちの心の余裕を作れる。そんな活動を続けることができるのも、助成していただいたお陰です。

これからも、家族の笑顔を増やすための活動に力を入れていきたいと思います。

ありがとうございました。



特定非営利活動法人まちのかぜ(大和市) 代表 古賀 智恵美 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2021年1月

団体の目的・活動内容

下記の3つの視点から子どもたちを健全に育てていく親子・子どもたちへの支援。また、食育としてフードロス削減の仕組み作りを目的にしている。

- 1)教育(子どもたちに未来の教育を支援)
- 2)子育て支援(子育て中の家族を支援・貧困・ 多子家庭・シングル家庭への支援)
- 3)フードロス削減(フードロス削減に向けて、 仕組み作り)

- 活動歴 中学生以下無料お弁当配布事業(大和市)
- ・子ども食堂(大和市中央・大和市柳橋・藤沢市)
- ・移動子ども食堂(茅ヶ崎市) ・無料オンライン学習支援(神奈川県・静岡県)

団体情報

住所: 〒242-0021

大和市中央七丁目4番2号フローラルコート101

TEL: 080-5677-4956

Mail: mmachinokaze@gmail.com

URL:

https://colorize2019.wixsite.com/macchikaze

- ★助成した事業・活動 子ども食堂「なないろ」
- **★内容** 子どもイベントと昼食提供
- ★助成対象 食材費、会場費、ボランティア交通費、消耗品費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

今までの子ども食堂の継続ができることで、より地 域課題へ取り組めることを嬉しく思います。一人親 で頑張っている方、学校に馴染めないお子さん、ワ ンオペ生活で居場所を求められている方など、様々 です。また、自宅で料理をさせたいという思いと現実 はかけ離れているのが現状で、料理を通して食育 活動、そして当団体の食品ロス削減への繋がる活 動を積極的に行なっていこうと思います。











特定非営利活動法人 ユナイテッドかながわ(大和市) 代表 市原 信行 助成金額 100.000円

団体紹介

設立年月 1999年8月

団体の目的・活動内容

地域助け合い、相互扶助、仲間を大切に、自然災害被災地への支援活動を行いながら、地域連携、防災力、受援力の向上を目指し、技術力や県内外の情報の有効活用を行い、当法人の発展と被災地への支援活動、地域防災、人材育成、児童支援などに寄与することを目的とし、その目的に資するため、(1)災害救援活動、(2)社会教育の推進を図る活動、(3)子どもの健全育境の保を図る活動、(4)まちづくりの推進を図る活動、(5)環境の保を図る活動、(6)情報化社会の発展を図る活動、(7)前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動を行っています。 連絡、助言又は援助の活動を行っています。

活動歷

- •2020年九州豪雨 熊本県球磨村支援他
- ・2021年5月 大和市柳橋に活動拠点を設置
- ・2021年8月 子ども食堂やフードパントリーを開始(毎月子ども食堂4回(当法人1回、連携3回)、フードパントリー1回)大和市内での防災減災活動、子ども支援を中心に社 会福祉協議会や行政と共に地域活動展開
- -2022年3月 福島県沖地震への支援、白川郷の 湯火災復旧支援ボランティア参加

団体情報

〒242−0021 大和市中央1-4-4 208 活動拠点 大和市柳橋2丁目8-6 『かけはし・やなぎばし』

TEL: 046-204-4100

Mail: info.united.kanagawa@gmail.com URL: https://unitedkanagawa.jimdofree.com/

★助成した事業・活動 かけはし やなぎはし 子ども支援事業

こども食堂、フードパントリー、クラフト体験等

★助成対象 食材費、物品購入費、スタッフ交通費、 消耗品費等

助成をうけて・・・の思い・メッセー

2021年8月に子ども食堂及びフードパントリー事 業を開始し、2年目を迎えるに当たり、本助成金を頂 くことで、安定した事業活動ができることをうれしく思 います。コロナ禍で人と人とのつながりを継続するこ とが難しくなっていますが、大和市柳橋地区の活動 拠点「かけはし・やなぎばし」を起点とした地域の防 災減災、コミュニティーの維持、子どもやシングルマ ザーなどの支援を必要とする方へのアクセスを確保 してまいります。

具体的には、大和市柳橋地域の子どもたちから高 齢者までを対象とした第3の交流の場として、食を通 じた支援と災害発生に備えた防災減災教育、助け 合いや相互理解の醸成を目的として、子ども食堂と 同時開催するクラフト体験、僧侶による紙芝居、手 指ヨーガやフードパントリー、防災講習会などを実施 します。また、近隣の農家さんとの交流(野菜の提 供を含む)、や拠点内の家庭菜園において農業体 験などを企画することで、土に触れ、自然の摂理や 生きるために必要な知恵を学ぶ機会を提供します。







ぱくぱく食堂(綾瀬市)

代表 斎藤 輝美 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2017年10月

団体の目的・活動内容

子どもたちが幸せに生きられる地域つくりを目指して、子どもとお母さんたちのために活動している団体です。月2回、食堂を開催していましたが、現在はコロナ禍のため、食料を必要とされているお母さんと子どもたちなどに食料を無償で提供しています。

活動歷

- -2017年10月より、月2回の食堂開催
- ・2019年3月より、 学校の長期休み明け 前には、健康推進課との連携で、家庭内で 課題を抱える親子を対象にした食堂を開催
- ・2020年8月より月2回、食料支援の活動を 始める
- ・外国籍のお子さんが参加している日本語教 室へのお菓子の提供も行なっています。

団体情報

TEL: 080-3721-8989

Mail: shokudoupakupaku@gmail.com

★助成した事業・活動 フードリンク ぱくぱく食堂

★内容

食料支援と生活用品支援

★助成対象

物品購入費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

2017年10月より、食べることを通して人との関わりをつなげたいという思いから、「ぱくぱく食堂」を始めました。しかし、コロナ禍により、食堂の開催ができなくなり(公共の調理室が借りることができなくなりました)、活動を中止していましたが、このような状況の中、今、自分達にできることはないかと考え、昨年度8月より、食料支援の活動を開始しました。長引くコロナ禍により、マスクは必需品となり、また、生理用品も必要不可欠なものと感じます。食料支援をしながら、より必要なものを探りながら、手渡していけるようにしたいと思っています。食料以外のマスクや生理用品も継続的に配布していけるように、この助成金を活用させていただきます。ありがとうございました。





一般社団法人 かながわ地域デザイン協会(綾瀬市) 代表 石井 弘光 助成金額 96,000円

団体紹介

設立年月 2020年11月

団体の目的・活動内容

- ・児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業
- ・高齢者の福祉の増進を目的とする事業
- ・勤労者の福祉の向上を目的とする事業
- ・地球環境の保全又は自然環境の保護及び整備を目的とする事業
- 教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全 な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養す ることを目的とする事業
- ・地域社会の健全な発展を目的とする事業
- ・男女共同参画社会の形成その他のより良い社 会の形成の推進を目的とする事業

活動歴

- ・令和2年12月より移動式子ども食堂「どもどもキッチン」を開始
- ・令和3年4月より子どもたちに食を教える「田んぼで学ぼう」を実施
- ・令和3年6月環境を考える講演会「地球の今を 学び、未来を考え、行動する人を増やす事業」 を実施

団体情報

Mail: contact@kada.or.jp

★助成した事業・活動 移動式子ども食堂「どもどもキッチン」

★内容

キッチンカーでの食事提供と支援物資配布

★助成対象

食材費、消耗品費、印刷費、その他

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は子ども食堂への助成を賜り、厚くお礼申し上げます。私どもかながわ地域デザイン協会は令和2年度よりフードトラック(キッチンカー)を使用し、市内公園を巡回、子ども食堂を開催しております。

困っている子どもたちの中には固定された子ども 食堂へ行くことに二の足を踏んで訪問することをた めらうこともあるのではないかと考えています。

公園という公の場所で子ども食堂を行うことで、食料、物品を受け取ることが容易くできるような環境を作ることが可能だと考え、現在まで運営を行ってまいりました。毎月の開催を行うことで認知もされてきたため、この度の助成により継続できることを大変うれしく思います。

これからも一人でも多くの子どもたちに配布ができるよう、また子どもたちの居場所が作れるよう継続していきたいと思います。



NPO法人 地域福祉を考える会(伊勢原市) 代表 端山 清 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 1992年4月

団体の目的・活動内容

主に高齢者、障がい者、子どもに目を向け誰もが優しく支え合う街を目標に福祉の実践活動と学習 活動を行う。

活動歴

•2001年 友愛電話活動開始。 •2004年 NPO法人認証·設立。 •2005年 子育て広場活動開始。 •2006年 成年後見事業開始。

児童コミュニティクラブ事業開始。

-2016年 子ども食堂、学習支援事業開始。

2017年 けんこううたごえ事業開始。

-2019年 子ども食堂天soraキッチン開始。 2022年 朝ごはんだよ子ども食堂開始。

団体情報 住所:

〒259-1142 伊勢原市田中256-1-301

TEL: 0463-95-6665 FAX: 0463-20-9320

office@tiikifukusi.com Mail: URL: http://tiikifukusi.com/

★助成した事業・活動 子ども食堂、こども食堂「天(sora)キッチン、 朝ごはん子ども食堂

★内容

子ども食堂

★助成対象 会場費、スタッフ交通費、食材費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍で、感染防止対策に様々な経費がかかる 中、子ども食堂や学習支援等の事業実施に大いに 助かりました。

子ども食堂においては、4月から新たに「朝ごはん だよ 子ども食堂」も新たに立ち上げ、まだ参加者は 少ないものの、子どもたちの心と体の発育に寄与で きる、とスタッフー同頑張っています。

学習支援においては、今春在籍していた中学3年 生14名全員が希望する県立高校に進学でき、下級 生たちにも大きな励みになっています。



子ども食堂の様子



学習支援 卒業生を送る会

フードパントリー & みんなの居場所 ぶどうの木(愛川町) 代表 山本 祐子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2021年10月

団体の目的・活動内容

- ・生活困窮家庭に対しての食の支援
- ・ひとり親家庭やその他孤立している子育て 家庭に対しての居場所づくり
- ・ボランティア活動を通しての地域の活性化

活動歴

・困窮世帯に対して月1度の食品配布

(配達含む)

- ・ひとり親家庭への弁当配布(不定期開催)
- •ひとり親家庭に対してのイベント開催
- ・家庭においての悩みの傾聴と相談

団体情報

住所: 〒243-0303

愛甲郡愛川町中津5485-1 天理教本厚木分教会内

TEL: 046-285-2588

Mail: budou.fp. 2021@gmail.com

URL: budounoki-fp.wixsite.com/aikawa

★助成した事業・活動

フードパントリーぶどうの木

★内容

フードパントリー、ひとり親家庭を対象とした 持ち帰り弁当配布

★助成対象

食材費、講師謝金、交通費、物品購入費、 ボランティア活動費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

月に1度の食品配布日に利用者さんがお子さんを連れてこられる際、「子供がぶどうの木にくるのを毎回とても楽しみにしている」という声があり、何か子育て支援や、いつも頑張っている親御さんに向けての企画ができないかと思っておりました。この度の助成のお陰で、既存の食料品支援に加えて【ひとり親世帯への子育て支援】として新たな活動を始めることができました。

食の支援を必要とされている家庭は、応じて人との繋がりも必要とされている場合が多いように感じます。パントリー活動及びイベントを通して、食品提供だけでなく人の繋がりや温かさも提供し、心も豊かに育む手助けができればと思っています。助成を頂けることで、自力でパントリーへ取りに来ることが難しい世帯への配達も、変わらず継続できることとなりました。本当にありがとうございます。





NPO法人 ブラジルsolidario横浜(横浜市) 代表 斉藤 達也 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2020年10月

団体の目的・活動内容

横浜は神戸と共に、多くの日本人がブラジルを中 横浜は神戸と共に、多くの日本人がフラシルを中心とする南米への移民船の出発地であったことから、ブラジル・南米との強いつながりがある。こうした地域特性を背景として、ブラジル移民110周年のお祝いイベントを機に、ブラジル・南米にまつわる活動のみならず、多文化理解、多文化共生、多文化社会の促進、友好・連携の進展を支援することを目的として活動している。

活動歴

- ●毎月各所へ各1回 フードバンクと連携した食料支援 活動 横浜市金沢区の外国人派遣企業・横浜市中区の 子供食堂・平塚市の南米人コミュニティ・群馬県大泉 の外国人シェルターへ食糧運搬&配布
- ●健康ウォーキング ブラジルゆかりの地を巡るウォ ーキングイベント(みなとみらい周辺)
- ●フードバンクを利用した学生支援 食料に困っ ている学生向けサンバのワークショップ&食料配布
- ●横浜サンバカ―ニバルブラジル移民113周年をお祝いす る記念講演/トークイベントと記念ステージショー(な か区民活動センター・日本大通りパレード・象の鼻パ 一ク)

団体情報

〒226-0014 横浜市緑区台村町314番地 第一秋元ビル2F

045-935-1315

E-mail: brasilsolidarioyokohama@gmail.com U R L: https://brasilsolidario.yokohama/

★助成した事業・活動 食支援活動

★内容

困窮する在日外国人への食料支援活動

★助成対象

運搬謝金、運搬費、ボランティア活動費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍の状況が2年経っても変わらず、今な お在日外国人の方々の生活は良くなるどころか 悪化の一途をたどっています。2022年も引き続 き食料支援の活動が必要だと考えます。私たち が支援している団体も昨年4か所に増え、支援人 数も回を追うごとに増加している状況であるこ とから、生活クラブソーシャルインクルーシブ 助成を受け、今後も継続して活動して行こうと 思います。







チームやどりぎ(横浜市)

代表 藤川 祥子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2021年1月

団体の目的・活動内容

フードパントリー(無料食品配布)事業を通して、地域のフードロス対策と低所得家庭への支援を行ない、身近な環境問題や貧困問題の解決に寄与することを目的としています。具体的には、横浜市鶴見区佃野町において、月1回の「フードパントリーつくの」を開催しています。利用者は30組程度です。設立したばかりで、まずは月1回、しっかりとフードパントリーの活動を続けていく基盤づくりを行います。

団体情報

住所: 〒230-0061

横浜市鶴見区佃野町1-7

深谷ビル202

★助成した事業・活動

フードパントリーつくの

★内容

食支援活動

★助成対象

物品購入費、ボタンティア交通費、消耗品費、ボランティア活動費等

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

2022年1月に立ち上がったばかりの小さな団体を信頼していただき、助成を受けられることになりましたことに心より感謝申し上げます。3月に初回の「フードパントリーつくの」を開催しましたが、20組への食品配布を予定していたところ20組のご応募があり、19組におつなぎしました。最初のご利用は5組程度だろうと考えていましたのでとても驚き、またフードパントリーが地域に求められている活動であることを認識しました。

いただいた助成金は、活動スタートにあたっての様々な備品の購入やボランティア参加者への交通費、通信・運搬費に使わせていただき、地域に根差した活動となるための基盤づくりを進めたいと考えています。将来的には、食品配布だけでなく、利用者の方の困りごとの相談を受ける力をつけたり、地域で同様の活動に取り組んでいる団体とのネットワークを広げたりしながら、活動を成長させていきたいです。









フードバンクかわさき(川崎市) 代表 高橋 実生 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2013年6月

団体の目的・活動内容

生活困窮者に対し、フードバンク活動を通じて食品を提供することで、早期に食生活の安定をはかることでの自立・社会復帰の支援をし、またこれにより世帯をともにするお子さんの食の安定をはかり、食のみならず精神的な支えにもなることで、親子間のDVをはじめとする親子関係の破綻を防止することを目的にしています。

活動歴

その中で貧困が原因になっていることや、DVや虐待から逃れても生活がなかなか安定せず貧困になることも多いことから、食品を届けることを通じて「一人ではない」という思いを持ってもらえるよう2013年から法人としてフードバンク活動を開始しました。現在、食品に困窮している世帯への食品の配達、新規利用者への随時対応、状況によっては市外県外からの声に対応することもあります。

団体情報

住所: 〒〒214-0012

川崎市多摩区中野島6-21-2マルマスハイム1F

TEL: 044-440-4444(着信専用)

※折り返しは070-6***-**53からになります

Mail: info@fb-k,jp
URL: https://fb-k,jp/

★助成した事業・活動 フードバンク事業

★内容 提供食品の配達

★助成対象 ボランティア交通費、運搬費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

食に困っているとの声は市内にとどまらず市外・県外からも届いていて、またコロナの環境下増えています。市外については、その町のフードバンクにつなげるよう、紹介をしていますが、フードバンクが無かったり、利用や回数制限などで、その町のフードバンクを利用出来ない方もいるため、対応せざるを得ないケースも増えています。ではどう届けるか。市内は配達していますが、そうは行かない先には宅急便で送るしかありません。では送料は?。先方はにまってはどうしても送料を負担せざるを得ない、あるいは立替えざるを得ません。 一方、当団体は全員無償ボランティアでの活動で

一方、当団体は全員無償ボランティアでの活動です。それでも多くの方々に参加いただいていますが、学生さんなどやちょっと遠方の方からは、せめて交通費の一部でも出してもらえれば参加しやすいとの声もありました。

今回、これらの状況への対応として助成金を使わせていただけ大変ありがたく、より多くの思いや状況に応えられる活動につなげたいと思います。















たかつフードバンクチーム(川崎市) 代表 浅田 美鈴 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2021年3月

団体の目的・活動内容

- ・フードバンク活動を通じて、地域を豊かにする。
- ・川崎医療生協溝ノ口支部、かわさき生活クラブ 生協たかつデポー(共済たすけあい委員会) でチームを結成し、活動を行っている。

活動歴

- ・2021年4月~「フードドライブ&フードパントリー」を毎月第4土曜日(14時~16時)に たかつデポー店前にて開催
- ・2021年6月~ フードドライブ回収BOXを 常設(たかつデポー店内)

団体情報

Mail: takatsu.depot.unei@gmail.com

★助成した事業・活動

フードドライブ&フードパントリー

★内容

フードドライブ&フードパントリー

★助成対象

食材費、物品購入費、広報費、ボランティア活動費、消耗品費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍で、フードパントリーの受け取り希望者が増え続け、この先どうやって活動を続けていこうかと悩んでいたので、助成金をいただけることになり、本当にありがたく思っています。助成金を使って、今までやりたいけれどできていなかった「生理用品」の配布も4月から開始することができました。受け取りを希望する方が多く、必要な活動であると実感をしています。

私たちだけでは、できる活動にも限界があります。 今後も地域の団体と連携をし、地域ぐるみでみんな が豊かに暮らせる地域を目指して活動をしていきた いと思っています。寄付をしてくださった方々の「気 持ち」「思い」を大切にできるように、チームー丸と なって頑張ります。本当にありがとうございました。







特定非営利活動法人 サテラ(相模原市) 代表 庄田 浩之 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2017年6月

団体の目的・活動内容

一般市民、特に生活困窮者等の方々に対して、 生活、住居及び自立の支援に関する事業等を行い、 誰もが安心して生活できる社会づくりを目的とし、広 く公益に寄与することを目的とする。(定款より一部 抜粋)

活動歴

生活困窮者への食支援。特にひとり親世帯に対し、 青少年相談センター等と連携し行政の福祉支援に 繋げた。また、行政や福祉団体を通じ生活家電の支 援を行っている。他方、相模原市内の企業より通常 フードバンクでは扱わない冷蔵品を積極的に扱い、 フードロス削減に寄与している。昨年度より『相模原 市SDGsパートナー』に登録されている。

団体情報

住所: 〒252-0243

相模原市中央区上溝1725-3

TEL: 042-813-6363

Mail: info@npo-satella.or.jp

U R L: http://npo-satella.or.jp

★助成した事業・活動

フードバンク事業

★内容

生活困窮世帯・子ども食堂・高齢者の居場所 等への食支援

★助成対象

食材費、ボランティア活動費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

助成頂き有難うございます。コロナ禍で休業していた飲食店も、蔓延防止措置解除となりやっと営業できると思った矢先、お休みして頂いていた従業員は退職してしまい、営業できなくなってしまったとの声も聞いております。ひとり親世帯でやっと仕事が出来ると思っていたのに、この様な状況に陥っている方が大勢いらっしゃいます。まだまだ、継続的支援が必要な状況です。私たちも、この助成を頂き多くの方々の生活が安定するまで頑張って支援してまいりたいと思っております。

本当にありがとうございました。





フードコミュニティ(相模原市) 代表 中臺 博 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2016年10月

団体の目的・活動内容

市民の皆様や企業様からお裾分け頂いた野菜や果物・ 贈答品・規格外食品で賞味期限原則30日以上の食品を ご寄付いただき、市内の子供や高齢者向けの食堂や養護 施設・生活困窮世帯を支援されている団体・無料学習塾 様に無償でお届けし、有効活用されることで、フードロスを 削減し、地域とのコミュニケーションの拡大を推進していま す。

活動歴

- ・パルシステムグループからの食材集荷 (原則第2・第4土曜日)
- ・オギノパンからの食材集荷と配送活動 (毎週日曜日・第2・第4金曜日)
- ・フードバンクからの食材集荷と配送(原則第4金曜日
- ・相模原市資源循環推進課のフードドライブ品の集荷 (1回/月)
- ・市民からの食材提供随時(月平均15か所)
- ・市民団体等への食材配送随時(月平均28回)
- 扱う食材の数量(フードロス削減金額換算) 120万/月 (年間平均1,440万円)
- ・LINEやFacebookグループでの情報交換や情報共有

団体情報

住所: 〒252-0335

相模原市南区下溝2103-25

TEL: 070-4481-4094

Mail: foodcommunity.1001@gmail.com

URL: https://foodcommunity--sagamihara.amebaownd.com/

★助成した事業・活動 フードバンク

★内容

食支援活動

★助成対象

運搬費、ボランティア活動費、印刷費、 消耗品費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

市民の皆様や企業様から頂いた野菜や果物・贈答品・規格外食品で賞味期限原則30日以上の食品を、市内の高齢者向けの食堂や養護施設・生活困窮世帯を支援しているに団体等に無償で提供することで、食品ロスおよび食の格差を削減している。また、生活用品・文具品なども同様集荷し提供する活動にも着手している。

今年度からは持続可能な活動を行うため、こ ども食堂やひとり親世帯への支援等について は市民行政提案型協働事業として引き続き活 動していく。

利用者からは、「本来かかるはずだった食費を押さえ、日用品を買うことができました」「ひとり親家庭で実家の母も要介護なので身内に頼れる人がいません。金銭面だけでなく、精神的にも気持ちが救われました。ありがとうございました」などメッセージが寄せられた。









フードバンクあつぎ(厚木市)

代表 寺岡 まゆみ 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2019年4月

団体の目的・活動内容

- ・食品ロスの削減と、生活困窮者への支援の双 方をつなぐ"もったいないをありがとうに変える 活動"
- ・市民や企業・農家などから嗜好の合わない食品 や、防災備蓄品の入れ替え時、規格の合わな い野菜などを回収し、ひとり親や仕事が減った 生活の困窮者・学生などに食料品や日用雑貨 類を配布する。

活動歴

- ・毎週水曜日と第3日曜日に10時~15時まで回収 と配布。令和3年度実績:59回開催、回収966人 配布885世帯+8団体 1,856人
- ・困窮学生への支援 令和2年8回(1,267人)、令和3年4回配布

団体情報

住所: 〒243-0018

厚木市中町1-8-10 1階

TEL: 080-6602-2163

Mail: terawe2548@uqmobile.jp

★助成した事業・活動

「食品ロス対策及び生活困窮者・学生等への 食料支援」

★内容

食料品、日用雑貨等の回収と配布

★助成対象

食材費、ボランティア交通費、運搬費、消耗品費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍が思いのほか長引いている中で、仕事量 が減ったり、なくなったりの非正規雇用者や学生が 困窮状態になっている。

当団体の活動は無償のボランティアによるものと、 市民や企業などの善意によって成り立っているが、 貴団体からの助成はたいへんありがたい。

寄付による食品だけでは偏りがあるので、助成金 で購入し配布を行いたい。



CoCoLoの会(逗子市)

代表 吉原 千草 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2010年1月

団体の目的・活動内容

目的:大人も子どもも「ありのまま」で安心して過 ごせる居場所づくり

活動内容:無料不登校支援・フードドライブ活動・ フードパントリー活動・無料食卓

活動歴

放課後の学習支援ココロさんの寺子屋が最初の 活動。その後、不登校支援等の相談を受けるように なったことから、子ども達の昼間の居場所を開始。 室内の活動だけではなく、課外活動にも力を入れて いく中、地元の農家さんとのご縁を頂き、棚田と畑 のお手伝いをするようになった。 地域とのつながり を大切にしながら子どもたちの成長の場を作り上げ ていく中で「無料food@沼間」が誕生した。大人が楽 しく過ごしている姿が子ども達を元気にし、大人も子 ども達のあり方から学びをもらい、お互い共に成長 していく空間となっている。

団体情報 住所:

〒249-0004

逗子市沼間1-4-43 キリガヤラボズ1階

090-3816-6780 TEL:

cocolonokai@gmail.com Mail: URL: https://cocolonokai.com

★助成した事業・活動 フードドライブ逗子・葉山 ~食品を通してつながる人と人の「ほどよい」絆~

★内容

フードドライブ・フードパントリー

★助成対象

食材費、物品購入費、印刷費、運搬費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

2021年にフードドライブ・フードパントリー活動を開 始して1年が経ち、想像以上にその必要性を痛感。 今回の助成は、地域の中で余剰の食品を必要とする方にお届けする自立したシステム作りへの大きな勇気づけとなった。

大手コンビニエンスストアとの提携や、食品回収拠 気が記されている「まっぷ」作りが進む中、この活動 に関わる人達の気持ちの変化が既に見られている。 食品を受け取りに来る人は、不安が安心へと変わり他人を思いやる余裕が出てくるなど、お手伝いとして参加するなどのたくさんの変化があった。人が変わっている様子を目の当たりにし、運営側にも多くのでは、またました。 学びを頂き、人を受け入れる懐が深まっているよう に感じる。

CoCoLoの会は、誰でも立ち寄れるフードパントリーを行っているが、それは、「困っている人」というのは経済的事由だけでなく、人間関係や心の問題 など様々な要因があるからである。食品という物質 だけで解決できない課題に対し、無料カフェコーナーでの息抜きや、ボランティアさんのさりげない言葉がけなどを通して課題の解決に取り組みたいと思っている。





たすけあい(小田原市)

代表 太田 実 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2019年4月

団体の目的・活動内容

困っている人をたすけること

ひとり親家庭、一人暮らしの高齢者、生活保護利用者、障がい者などのお困りの方々に無料で食品を配布しています。

活動歴

フードバンクさんから支給された食品とかながわ 生き活き市民基金さんからの助成金で購入した食 品を月1回、仕分けして困窮者に配布しました。

団体情報

住所: 小田原市酒匂 Mail: ootam242@gmail.com

★助成した事業・活動

生活困窮者、ひとり親家庭、独居高齢者 等への食支援

★内容

無料食品配布と見守り活動

★助成対象

食材費、運搬費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

助成していただき、誠にありがとうございます。 長引くコロナウイルス感染症や社会不安の増大により、ひとり親家庭、一人暮らしの高齢者、 生活保護利用者、障がい者などのお困りの方々は増加しており、その困窮度も増しております。 助成していただいたことで、そのお困りの方々に食材、食品などを、お渡しすることができ少しでも安心して暮らしていただけるようにサポートしていくことができます。助成を受けた貴重な財源で、少しでも多くのお困りの方々に喜んで頂けるように使わせていただきます。

我々の活動も微力ですが食品の受け渡しのときに、皆さんから「ありがとうございます」と喜んでもらっています。これを励みに皆さんが笑顔で暮らせる日を目指して活動してまいります。







NPO法人 街の家族(横浜市)

代表 押久保 美佐子助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2020年8月

団体の目的・活動内容

横浜市青葉区及び周辺の地域住民に対して、三世代交流のまちづくりに関する事業を行い、生活のしやすい地域社会の実現に寄与することを目的としています。

地域の空き家を活用し、多世代が交流できるコミュニティハウスを運営しています。子育て中の親子や元気なシニア達が一緒になって、お料理や体操をしたり、地域のイベントに参加したりしています。乳幼児の一時預かり保育事業も始め、地域に根付いた三世代の居場所作りを目指しています。

活動歴

コロナ禍前までは、ランチを作り合って大家族のように皆で食事をしていました。また、ヨガや陶芸、パソコンなど、全世代が参加できる教室を開催していました。

現在は、情勢に応じて人数制限をしたり、時間を 分けて、少しずつ交流する機会を増やしているとこ ろです。

団体情報

住所: 〒227-0036

横浜市青葉区奈良町1566-332

TEL: 070-4400-1306

Mail: machikazoku@yahoo.co.jp URL: https://machinokazoku.info

★助成した事業・活動

生きづらさを抱えた子どもたちに寄り添う活動

★内容

座談会・イベント開催、訪問

★助成対象

ボランティア活動費、諸謝金、消耗品費、 交通費、会場費等

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

生きづらさを抱えたこどもたちやそれを 支える場がについただいたことができり添える場を引いただいたことができましていることが立ちたいでもした。 中ではり、その想いを形にするの会を立ちたがでちたができまでで悩む子や家族ののおしたができました。 月1回のおしたができまでであるとができまでがイザーや公認なりの他、発達支援アドバイでの座談もありでするといるといるといる場所です。 までいる場所でするといるといます。 もればでいる場所ではいるものではあります。 は、発達では、その他のではいる場所ではいる場所では、そのといる場所である場所である場所である。 は、その他のではいるといるといます。 は、たっというというでは、ことにはいる。 は、たっとにより、ことにはいる。 は、たっとにより、ことによりにより、ことにより、ことにより、ことにより、ことにより、ことにより、ことにより、ことにより、ことに







おはなしの風(横浜市)

代表 森川 美代子助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2014年7月

団体の目的・活動内容

- ・絵本を通じて心のケアをする事を目的に、絵本 を読み伝える活動。
- みんなの絵本のおうちの運営

活動歴

- ・2014年横浜市子育て支援の場を中心に、子育 て支援として絵本を読み伝える。
- ・2020年絵本の良さをいかした居場所、みんなの絵本のおうちを開設。絵本を読み伝える。

団体情報

住所: 〒245-0023

横浜市泉区和泉中央南5-4-11

TEL: 045-295-2104

Mail: picturebookshouse@gmail.com

★助成した事業・活動 シニアhappy day、みんなの寺子屋

★内容

、 シニアの居場所、地域食堂と学習支援

★助成対象

食材費、印刷費、物品購入費、運搬費、消耗品費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は、助成をありがとうございます。頂いた助成金をいかして、美味しい食事を作り、食を共にする事で生まれる繋がりを育てていきたいと思います。

今はまだ手探りではありますが、シニアの 方々を支援するシニアデー、一人で食事をせず にみんなで食事を目的とする夜カフェ、学ぶ楽 しさや食べる楽しさを体感することを目的にみ んなで寺小屋などを実施しています。

これらの活動を通じて、シニアの方々、子ども 達、子育て世代の親たち。様々な方々が、交わ り、見守り、集い、笑顔が生まれるみんなの絵 本のおうちでありたいです。







青少年育成支援の会(横浜市)

代表 三宅 哲夫助成金額 39,000円

団体紹介

設立年月 2018年4月

団体の目的・活動内容

- ・学習意欲があっても、環境や家庭の事情により学業に専念することができない児童に対して、学習の機会や教材を提供する。
- ・教室では自習を基本として、質問に対しては個別に対応する。学習教材は各自が持参するか、希望があれば各自の学習進度に見合うプリントを準備する。

活動歴

- ・2018年11月より、活動拠点として港北区 社会福祉協議会のあるビルの一室を借りて 学習支援活動を開始した。
- ・1年後の2019年12月からは、現在の場所(KUVアネックス)で週2回教室を開いて現在に至る

団体情報

TEL: 080-3074-7062 Mail: tex.miyake@gmail.com

URL:

http://www.ne.jp/asahi/shien/gakushu/

★助成した事業・活動

無料学習支援活動

★内容

無料学習支援教室開催

★助成対象

会場費、ボランティア活動費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

本会は、2019年12月より活動拠点を今の場所に移し、毎週2回学習教室を開催して現在に至っている。2020年度は、港北区社会福祉協議会の助成を受け、21年度も社協の助成を受けることができたが、新型コロナ蔓延の影響や児童の卒業や引越しが重なって、週2回の開催で計算すると平均利用実績が下がってしまい、計画を縮小した上での申請受理となった。

学習教室は児童にとって勉強する場であると同時に放課後にくつろげる居場所であり、また親にとっては子どもから解放される息抜きの時間という性格も備えており、児童を受け入れる態勢を維持することが、地域社会にとって意義があると考えている。

2022 年度の予算計画で悩んでいたところ助成採択通知が届き、大変有り難く元気が湧き出た。



特定非営利活動法人 ピッピ・親子サポートネット(横浜市) 代表 友澤 ゆみ子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2004年5月

団体の目的・活動内容

働いていてもいなくても預かる、地域福祉拠点となる保育園を開所したいとNPO法人を設立。目の前の「困った」に寄り添い、さまざまな出会いや気づきを次の取り組みに繋いできた。

活動歴

2005年 横浜市認可ピッピ保育園開園、

併設一時保育開始

2006年 学齢期のこどもの居場所~となりのいえ

開所

2008年 ヘルパーステーションみんなのいえ開所

2010年 ピッピ親子の広場はっぴい開所・

一時預かり併設

家庭的保育室りとるピッピ開所

2011年 大和市認可さくらの森保育園開所

(2015年独立)

2013年 子どもから高齢者まで集う大場町みんな

の家開所

2018年 生活クラブ『くらしてらす』2階ピッピみん

なの保育園開所

法人事業所6拠点でフードドライブ活動

開始

2020年 フードパントリー活動開始

団体情報

住所: 〒225-0024

横浜市青葉区市ヶ尾町1065-5森ビル

五番館201

TEL:045 530 3939

E-mail:pippi@npo-pippi.net URL:http://npo-pippi.net

★助成した事業・活動

子育て支援ヘルパー事業の再構築と人材確保に向けた取り組み

★内容

子育で支援ヘルパーの担い手発掘に向けた ヘルパー派遣事業の発信

★助成対象

広報費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍で、保育・子育て支援の現場では、あらためてアウトリーチケア(出向いていくケア)の必要性が認識されています。ケアの入り口は子育て支援であっても、経済的困窮、障害、外国につながる子ども・家族など、複雑な要因が重なりあい、柔軟な支援が必要なケースにも出会います。しかし、アウトリーチケアを担うヘルパーは慢性的に不足しています。

そこで、新たな担い手を発掘するために、助成金を活用し、ローカルメディアNPO法人森ノオトと協同し、ウェブメディアを活用した人材確保を進めます。 ヘルパーという仕事の価値を共感を持って伝え、新しい価値観を創造することにチャレンジします。



NPO法人 パオパオの木(横浜市) 代表 伊藤 奈美 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2018年5月

団体の目的・活動内容

子育ての中の親子と地域の方々に対して、 交流の場を提供する事業と、子育て支援事業、 まちづくりの推進を図る事業を行い、一人一人 が大切にされ、子どもたちの心身が健やかに 育成される為に、地域で助けあえる豊かな社会 の創造に寄与することを目的とする。

活動歴

毎月1回、地域食堂と連携し、町内会館にて 子どもの遊び場を提供。またアート体験や自然 体験などのイベントも企画運営している。

団体情報

住所: 〒240-0025

横浜市保土ヶ谷区狩場町301-56-102

TEL: 045-517-0384 FAX: 045-517-0384

Mail: mamumamu.paopao@gmail.com

URL: www.paopaonoki.org

★助成した事業・活動

「パオパオ子どもひろば」

★内容

小学生の居場所

★助成対象

食材費、ボランティア活動費、物品購入費、、 印刷費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

パオパオこどもひろばは2018年の設立から、主に小学生の居場所として、遊びの場やイベント活動を行ってきましたが、地域に定着し始めた頃にコロナ禍にとなり、ほとんどの活動が中止になっていました。

今年度は活動再開をしたいと思い、助成を受けて、食品配布会を企画しました。当日は多くの親子が集い、私達の活動再開に向けての周知の機会にもなりました。また、生活に困っている世帯には、優先配布日も設け、地域のたすけあいに貢献することができました。

コロナ禍で子どもの居場所が減少している中、子どもたちが楽しく過ごせる広場が地域に根づいていけるように、みなさんの応援を励みに頑張っていきたいと思います。ご支援ありがとうございました。







瀬谷第四地区社会福祉協議会(横浜市) 代表 松本 幸一助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

1971年4月

団体の目的・活動内容

- ■目的:地域の住民が関係機関と連携しながら、 自分たちの地域の「福祉の課題」を解決して いくための団体
- ・活動内容:高齢者支援、子育て支援、障がい者 支援、ボランティアグループへの支援、 見守り活動、人材育成など

活動歴

高齢者サロン、配食サービス「はあとの会」 子ども食堂&イベント「よんたくん広場」、3世代 交流「ゆうスリー」、障がい者啓発講演会、 養護学校訪問、地域のボランティアグループ への助成・サポート、地域見守り活動「よんたく んSOSネットワーク」、人材育成「よんたくん倶 楽部」、「福祉保健新聞」発行、「福祉保健のつ どい」開催など

団体情報

住所: 〒246-0021

横浜市瀬谷区二ツ橋町51

TEL: 045-364-7498

★助成した事業・活動

よんたくんの駄菓子屋さん

★内容

地域の大人と子どもたちが関わる場づくり

★助成対象

食材費、広報費、物品購入費、消耗品費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

新型コロナウイルスの感染が拡大し、飲食を伴う活動がむずかしくなっていますが、瀬谷第四地区社会福祉協議会の活動の一つ「よんたくん広場」の原点は「子ども食堂」です。一堂に会して飲食することなく、何とか「食糧支援を充実させたい」、「もっと地域の方と子どもがふれあう機会を作りたい」という思いから、新たに「よんたくんの駄菓子屋さん」を始めることになりました。一方、毎回の駄菓子代や駄菓子屋さんを運営していくための備品代など、思いのほか出費がかさむこともわかりました。さらに、コロナ禍で自治会での集金が滞っているため、以前に比べて地域の方から地区社会福祉協議会への「賛助会費」がかなり少なくなり、財政的に厳しい状況でしたので、今回、私たちの活動にご理解をいただき、助成金をいただけることを大変うれしく思います。子どもたちの笑顔のために使わせていただきます。ありがとうございます。









つばき学習会(川崎市)

代表 吉原 崇徳 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2017年4月

団体の目的・活動内容

- ・子どもが居心地よく学習できる場を提供し、学習をサポートする。
- ・子どもの学習をサポートすることを通して、また 適宜相談にのったり保護者の負担を軽減する。

活動歴

- ・幸区社会福祉協議会にて学習支援
- ・幸区メロディーココにて学習支援
- ・川崎区社会福祉協議会にて学習支援
- ・川崎区南部地域療育センターにて学習支援
- ・幸区ひだまりの家にて、夏休み宿題企画開催
- ・川崎区養護施設にて学習支援

団体情報

Mail: tubaki-gakusyusitu@outlook.jp

URL: https://www.tsubaki-gakushukai.com

★助成した事業・活動

つばき学習室@幸区

★内容

小学生を対象とした学習支援

★助成対象

ボランティア交通費、会場費、物品購入費等

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

このたび、当会に助成をしていただけることとなり、 大変嬉しくありがたい思いでいっぱいです。

当会は今年で活動5年目となりますが、コロナ禍の中、お子さんを取り巻く環境も大きく変わってきた印象です。子どもも大人も余裕がなくなってきている中で、子どもたちが居場所と思え、楽しく学習ができる場所の意義を感じております。当会が少しでも子どもたちのサポートをできるように、これからも活動を続けていきたいと思います。

このたびはありがとうございました。



TIE トマトマの会(茅ヶ崎市)

代表 山縣 紀子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2009年4月

団体の目的・活動内容

外国にルーツのある中高生を中心とした 日本語・教科のサポートと交流活動

活動歴

•年間活動

毎週日曜午後、13:00~15:00 ほぼマンツーマン対応、日本語・教科指導必要時 高校受験対応・個別相談・学校同行など、必要に応じて対応

•交流活動

見学・スポーツ・遠足・料理教室など交流活動、年4~5回 開催

・他団体やOBとの連携活動

団体情報

教室:横浜駅西口「かながわ県民センター」中心

TEL: 090-2322-0159

Mail: noriko-noko@ozzio.jp 山縣

★助成した事業・活動

外国にルーツのある中高生の日本語・ 学習支援教室「トマトマ教室」

★内容

学習支援と交流会開催

★助成対象

会場費、交通費、食材費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

今のコロナ禍状況になってから定期的な活動の場の確保が厳しくなり、その経費も結構掛かるようになってきた中で、このような助成金はとても有難く有効に使わせて頂こうと思っています。

現在、会の主旨の一つである横の繋がりのための 交流の場がこの状況の中で従来のようには出来ず、 生徒には物足りないかとは思いますが、お陰様で定 期的な学習の場はほぼ継続できています。

また、今もこの活動は何人もの持ち出しボランティアの心意気、といった想いで続いています。今後も状況に合わせた対応を考えながら、外国にルーツのある子ども達がこの場を必要としている限り、来るものは拒まず、安心して学べる場として地域で続けていきたいと思っています。







川崎朝鮮初級学校 アボジ会(川崎市) 代表 金 在丸 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 1970年4月

団体の目的・活動

川崎朝鮮学校に通う子ども達が健やかに育つ ように、その環境作りに努めています。

本校が様々な理由で日本の補助制度から除外 される中、学校を維持・運営するための様々な 活動を行っています。

また、地域の日本の方々に朝鮮学校について 理解をしていただく為の活動、地域で行ってい る様々なイベントへの参加を通して、一緒に 作っていく街づくりを心掛けています。

活動歴

- 学校校舎及び体育館清掃活動
- ・保護者と子どもたちとの交流イベント企画 ・(地域イベント) KAWSASKI大交流祭イベント スタッフ運営 等

団体情報

〒210-0833 住所:

川崎市川崎区桜本2-43-1

044 - 266 - 3091TEL:

Mail: kawasakikorean s@yahoo.co.jp

★助成した事業・活動 プログラミング教室

- プログラミング学習授業
- ★助成対象 物品購入費、講師謝金、交通費、消耗品費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

川崎朝鮮初級学校アボジ会(父親会)は、川崎朝 鮮初級学校に通う児童、園児達の健やかな学校生 活や園生活を通して、健全な育成の支えとなること を目的とした、保護者団体であります。

会の活動としましては、基本的に学校の教区環境 整備や清掃、子どもたちを対象にしたイベントの企 画運営がメインになります。

今回助成申請にあたり、近年ICT教育の導入協力を訴えられていながら、財政的な部分で十分な協力ができなかったこともあり、朝鮮学校の子どもたちに も同等の教育をさせたいおもいがあり、申請をいた しました。

コロナ禍の中で、会の財政も大変苦しい状況に なっておりましたので、今回の助成は大変ありがとく 思っております。

多文化共生としての地域交流の場でもある、本校 の児童たちにこれからも色々な経験をさせて、健や かに育っていけるように、当会も張り切って事業を 行っていきたいと思います。

ありがとうございます。









子どもの育ち応援団(相模原市) 代表 吉澤 肇 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2014年5月

団体の目的・活動内容

「地域で子どもを育てる」を標榜 内容 くすのき広場 (子どもの居場) くすのき学習塾 (学習塾) くすのき食堂 (こども食堂)

活動歴

毎週月曜日開催PM3時30分から6時30分 第1週3週:広場 第2週4週:学習塾その後 食堂

食事の提供は PM5時より クリスマス会、ハロウィン等イベント有り 夏休み学習会等学習も企画あり

団体情報

住所: 〒252-0136

相模原市緑区上九沢4市営上九沢団地

TEL: 0 4 2 - 7 6 2 - 4 5 6 8 Mail: 451204@yahoo.co, jp

★助成した事業・活動 くすのき学習塾

★内容 学習塾の充実

★助成対象 ボランティア交通費、物品購入費、消耗品費、 会場費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

2014年に「くすのき広場をオープンしました。当時団地は中高生のいたずら行為で荒れておりました。そこで子どもの居場所をオープンし現在に至っております。居場所の他に学習塾、食堂と3本立てで頑張っております。

運営はボランティア(大学生・婦人)で運営しております。今回の助成金で運営資金の心配が軽減され新規のボランティアさん等に交通費の心配などせず広く声掛けできる様になり大変ありがたく思っております。

私どもは食事は無料で提供しており、子どもや住民に認知されております。今後もこの方針は是非ともつづけて行きたいと考え地域の支援者様にも応援いただいております。

今回の助成は私どもにとって勇気を与えていただけたと思って益々頑張れる所存です。有難うございました。







相模原みのり塾(相模原市)

代表 小布施 実穂子助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2016年5月

団体の目的・活動内容

目的:家庭の経済格差を教育格差にしない社会 を実現すること

内容: 中学生・高校生対象の無料学習塾

社会人&大学生ボランティアによる1対1の

マンツーマン指導

職業紹介や体験、お祝いの会など、さまざま

なイベントも実施。

活動歴

·学習支援:定例授業(年間約50回)&夏期 講習·冬期講習&面接練習

・インベト: サッカー観戦、パティシエとのケーキ 作り、卒業を祝う会など

団体情報

TEL: 050-5307-2233

Mail: sagamiharaminori@gmail.com

URL: https://sagamihara-minori.jimdofree.com/

活動ブログ:

https://minorijyuku.hatenablog.com/ Twitter:https://twitter.com/minorijyuku

★助成した事業・活動

中学生・高校生対象の無料学習支援

★内容

オンライン授業環境整備

★助成対象

物品購入費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティア講師・生徒が集まっての対面授業がやりにくくなり、緊急事態宣言中は、全員をオンライン対応での授業に切り替えました。しかし、やはりネット環境や端末が手元にない家庭もあり、本来の目的である「全ての子どもたちが学ぶ機会を手に出来る社会を」が実現できない事態に・・・。

今回の助成金で、貸出用端末を購入するとともに、 対面授業ができているときには、その端末を教室で の教材検索システムにつなぎ、生徒の学習内容に 合わせた問題プリントや参考資料などを印刷できる ようにし、対面授業でも有効活用できるようにしました。

今回の感染症流行により、自分の家庭の経済的な厳しさをより感じることになった生徒たちを思うとやり切れません。せめて学習環境だけでも、子供たちがやりたいことを実現できるようにしたい。オンライン授業は、残念ながら対面授業にはかないませんが、まずは「機会」を絶やさないこと。そして「つながり」を絶やさないこと。実際にやってみて、その大切さを改めて感じました。











みんなの居場所ポプケ(相模原市) 代表 武田 恵 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2021年10月

団体の目的・活動内容

- スタッフ及びボランティアメンバーによって、おお むね週2~5回の子どものための居場所を開所 し、来所する子どもの対応に当たります。
- ・小中学生に安心して過ごせる居場所を提供し、 学習支援を行うことで、地域の小中学生の健全 な成長に寄与することをこの会の目的としてい ます。

活動歷

- ・昨年8月頃から構想し準備を進めてきました。 2022年4月23日(土)にオープニングイベント として会場の見学会と、特別支援級に通う6歳 のアーティストれい君の個展を開催しました。れい 君のとっても素敵な作品たちがポプケのオープ ニングを飾ってくれて、たくさんの人が来場してく れました。
- いばしょの活動は4月25日から始まったばかり です。地域の子ども達にポプケのことを知らせて いくことがこれからの課題です。

団体情報

住所:

^デ〒252-0235 相模原市中央区相生3-9-23 生活クラブ相模原センター3階

TEL: 070-8475-7338

★助成した事業・活動

みんなのいばしょ ポプケ

★内容

小中学生の居場所・学習支援

★助成対象

物品購入費、会場費、食材費、通信費、 印刷費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

社会が様々に分断され、子ども達にも経済格差の影響が及んでいる今日ですが、子ども達が地域のつながりの中でのびのびと育ち、身近な社会と出会ってほしいとの願いをもって「ポプケ」を開設しまし

活動を始めてみて、このような活動をされている先輩方がたくさんいらっしゃること、そして公的機関や民間機関で多くの支援が用意されていることを知り、 励まされております。

この度、かながわ生き活き市民基金の助成を受け て、活動のパンフレットを作ったり、会場を整える備品を購入させていただいて、安心して開所に向けてのスタートを切ることができました。ありがとうござい ました。

まだ始まったばかりの活動で、困難や課題が多く あるかと思いますが、地域に知られていき、子ども 達の笑顔があふれる場所にしていきたいと思ってい ます。どうぞよろしくお願いいたします。











社会福祉法人 鎌倉すこやか会(鎌倉市) 代表 兵藤 芳朗 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2014年1月

団体の目的・活動内容

多様な子育てに関するサービスを提供するとともに、次代を担う子どもたちが地域において心身共に健やかに育成されるとともに、子育て世代が安心して子どもを育てられるよう支援することを目的とする社会福祉法人で、認可保育園の運営、一時預かり事業の実施等をしている。

活動歴

社会福祉法人になる前に無認可保育事業を始めてからは今年で20年になる。保育園事業に次ぐ第2の事業として子育て支援事業を行なっていきたいと小学生の居場所づくりを模索してきた。

団体情報

住所: 〒247-0061

鎌倉市台2-6-7

TEL: 0467-46-2221 Mail: :info@mitubachi.or.jp

URL: http://www.mitubachi.or.jp

★助成した事業・活動

小学生の居場所「みつばちの家」

★内容

様々な体験、交流ができる場づくりと 食事提供

★助成対象

食材費、物品購入費、消耗品費、講師謝金等

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

私たちは数年前から「みつばちの家」と名付けた小学生を対象とした居場所づくりを模索してきました。 保育園を卒園した子ども達や地域の子どもたちが安心して訪れることができ、保護者も「今日はみつばちの家だね」と安心して送り出せる居場所を作ろうとの思いでスタートしたものです。ここ数年はコロナ禍にあって活動を発展させることが難しい状況にありましたが、今回、新しい年度を迎えるこの時期に助成金をいただき、元気に新たな企画を検討することになりました。まずは、4月に親子クッキング、5月、6月はキッズヨガに挑戦です。ランチタイムも設けて、黙食でもみんなで食べる楽しさを味わってもらおうとスタッフー同張り切って準備をしています。



れいんぼ~かふぇbyレインボースマイル湘南(藤沢市) 代表 鈴木 理恵 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2020年11月

団体の目的・活動内容

困りごとを抱えた子どもはもちろん、子育て世代のおとなの声を直接聞ける居場所づくりの必要性を強く感じ、自然なおしゃべりの中から困りごとをこぼしていただき、人と人、人と場所、人と支援をつなぐ架け橋となることを目的としている。

長後れいんぼ〜かふぇ(シェアカフェ長後食堂にて月2回(主に第1・第3木曜日)開催)

午前はおとな向けアロマワークショップ(子育て相談付)、 午後から夜にかけて自習室(軽食付)を運営。2021年8月 には「リサイクルランドセルの無料お渡し会&性教育絵本展示会」を行い、ランドセルを必要とされる方にお渡しすることもできた。

御所見スマイルカフェ(宮原コミュニティかわせみにて月1回(第2月曜日)運営)

午前は「登校に関するおしゃべり会」、午後は「子育てひろば&放課後の遊び場」「子ども食堂」を運営。

活動歷

石馴歴 代表の鈴木は、ひとり親として子育てをしながら小・中 学校や市P連、高校でPTA活動に関わり、並行して青少年 指導員として地域活動や、フリーランス講師として小中学 校でのいじめ防止プログラムファシリテーターや地域の 公民館での子育て講座などを行ってきた。現在は藤沢市 子ども子育て会議市民委員などもつとめている。

TEL: 090-9149-6024

Mail: rainbow.smile.shonan@gmail.com

https://www.facebook.com/raombpwcafe.for.everyone

★助成した事業・活動

地域のおとなと子どもの居場所事業 「御所見スマイルカフェ」

★内容

登校に関するおしゃべり会、子育てサロン、 フリースペース

★助成対象

食材費、広報費、会場費、消耗品費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

子どもが幸せになるためには、まずおとなが幸せ であることと思っています。そして、おとなが幸せで あるためには、地域が幸せであること・・・そこで、年 代問わず、地域のおとなも子どもも集える居場所と してスタートいたしました。また、子育てサロンや子 ども食堂の形態を取っていますが、支援する人とさ れる人を分けるのではなく、お互いが支え合える場、 誰もが役割を持ち活躍できる場を目指しています。

そうした地域を作るためには、継続することが意味 のあることと思いますが、継続には経費と場所、人 手という課題があるところ、こうして支援していただ けたことで、安心して開催することができています。 心より感謝いたします。ありがとうございました!







一般財団法人 平塚YWCA(平塚市) 代表 三股 まさ子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

1949年10月

団体の目的・活動内容

YWCAは、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、人権や健康や環境が守られる平和な世界の実現に向けて活動する国際NGOです。女性が主体となって活動しています。

活動歴

1949年の設立以来、70数年間にわたって、女性のリーダーシップ養成を活動の中心に据えながら、平塚および周辺地域の女性と子どもたちを取り巻く社会課題解決に取り組んできました。

- 子ども食堂「YYきっちん」(2020年~)
- ・学習支援「ワイワイスクール」(2020年~)

団体情報

住所: 〒254-0811 平塚市八重咲町24-31

TEL: 0463-21-1990

Mail: hiratsuka1949ywca@yahoo.co.jp

U R L: https://www.facebook.com/

一般財団法人平塚ywca-110670883761937/

★助成した事業・活動

学ぼう!遊ぼう!「ワイワイスクール」

★内容

地域の小学生を対象とした多様な学びの場

★助成対象

食材費、物品購入費、交通費、通信費等

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

2021年度の「YYきっちん(子ども食堂)」も昨年度に引き続きコロナ渦での活動でしたが、感染対策を行いながらスタッフー同工夫を顕を始め、特にこの1年を見た。2020年6月から活動を始め、特にこの1年でよりである方が増えました。家菜を使ったのかもしないがよこのを考案していません。認知度もあがり、ではをなのかもしれません。認知度もあがり、いまといるのかもしれません。現在は60食提供するまでに到れる100食でしたが、現在は60食提供するまでによりました。

小さなお子様を連れて来られるご家庭がほとんどですが、中にはご年配の方の利用もあり、お話を聞きますと介護が必要なご家庭で、美味しい食事が有難いとの事でした。食後には「食育かるた」で遊んだり、この「YYきっちん」の時だけ会う知り合いも出来、1か月ぶりの再会に会話がはずんだり、笑顔の絶えない場となっています。

助成を受け、コロナ対策のためテイクアウトに必要なお弁当箱の容器、バランスのとれたメニュー提供のための食材費などとして、ありがたく使わせていただきました。助成いただき誠にありがとうございました。



子ども学習支援グループ須賀の寺子屋(平塚市) 代表 大野 文 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2016年12月

団体の目的・活動内容

様々な事情で家庭学習が十分に行いづらく、学習塾等にも通うことが困難な小中学生を対象に、大学生や元教員・地域の大人が学校の宿題や授業の補習等の自主学習を無償で支援にする活動を行っています。学習の喜びと習慣を身につけ、学力向上を目指すことで、将来、夢や希望を持って進級・進学できる青少年の健全な育成を目的に活動しています。

活動歴

イン学生対象に毎月2回、中学生対象に毎月3回、対面での学習支援活動を実施する他、希望する生徒にはタブレット端末を貸出し個別オンライン学習支援や無料の学習サイトを利用した学習支援活動を実施しています。また、参加生徒や地域の困窮家庭の子どもたちへ、連携するフードバンク様の協力で軽食や食糧品の配付も実施しています。

団体情報

住所: 〒254-0802

平塚市札場町46-4 大野方

TEL: 080-6626-2686 (大野) Mail: sukanoterakoya@gmail.com

URL:

https://sites.google.com/view/sukanoteragoya

★助成した事業・活動

子どものための無償学習支援教室

★内容

学習支援と支援員のスキルアップ研修

★助成対象

講師謝金、物品購入費、通信費、 ボランティア交通費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度、生活クラブソーシャルインクルーシブ助成をいただき、念願でありました支援員への交通費支給を始められます。今年度も支援員のスキルアップを図り、4回の研修会を開催することもできます。ホームページのリニューアル費用の一部にも使わせていただきます。ご支援いただきました関係の皆様に心より感謝を申し上げます。

コロナの影響はまだ継続すると思われますが、無 償の学習支援による子どもたちの見守りは、意味の ある活動になっています。ご支援いただきました助 成金で、より多くの子どもへの学習支援活動に取り 組んでまいります。





スマホ☆ドリーム(横浜市) 代表 日置 直子 助成金額 30,000円

団体紹介

設立年月 2021年11月

団体の目的・活動内容

- ・スマホをきっかけとした、地域コミュニティを作りたい
- ・孤立した人をなくしたい、またスマホで困っている人を助けたい

活動歴

- ・旭区市民活動支援センター「みなくる」 「スマホ講座」2022.8.19~2022.9.9
- ・さいわい健康福祉プラザ「スマホ講座 」2022.10.3~2023.3.20
- ・「宮ノ前テラス」スマホ教室ヘルプ
- ・鷺沼スマホ教室ヘルプ
- ・NPO法人MiKS スマホ講座ヘルプ
- ・SNS個人レッスン

団体情報

非公開

★助成した事業・活動 シルバーのためのスマホ教室

- ★内容 スマホを学びながらコミュニケーションの場づくり
- ★助成対象 広報費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

助成金をありがとうございました。

私たち、スマホ☆ドリームは、地域のシルバーの 方向けでスマホ教室を開催していきます。まだ実際 には開催できていませんが、仲間の教室に手伝い に行き、雰囲気ややり方など学んでいるところです。

8月以降に、川崎と鶴ヶ峰での開催は決まりました。 頂いた助成金でチラシを作り「ガラケーも今後なくなり、スマホに変えなければいけないけど怖い、子供達には聞けない、話し相手が欲しいなどの想いを抱えている方」をとともに、ゆくゆくは外にも出て写真を撮ったり、楽しい時を共有できればと思っています。 たくさんの出会いが楽しみです!







NPO法人 地域で子どもを育む会(大和市) 代表 小畑 睦 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月

2021年12月 (2022年4月よりNPO法人)

団体の目的・活動内容

子どもの健全育成を目的としています。 活動内容としては、原則として、塾に通われていない小学生を対象に、学習補習活動、食育活動、軽食、パントリー、地域の居場所としてその他アクティビティーをします。

活動歴

5月より、活動を開始します。HPの完成、 自治体へのお知らせなど。

7月、8月に、広報活動の一環として、イベントの開催、保護者の方へ登録をしていただきます。 9月より毎週金曜に定期的にオープンします。

団体情報

住所: 〒213-0011

川崎市高津区久本1丁目

久本神社会館

TEL: 080-5490-9455(小畑) U R L: https://acc-k.or.jp

★助成した事業・活動

小学生の居場所、子ども食堂

★内容

おにぎり作り教室

★助成対象

会場費、広報費、物品購入費、食材費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は、助成を受けることが決定し、大変感謝しております。地域の子どもを持つ母親のメンバー、または、子どもはいなくても今の子どもたちの置かれている状況に心を痛めているメンバーとともに、今年法人として立ち上げた団体で、今からいよいよ活動が開始します。

食事の提供をしていくということは、途中で予算が立たずやめるわけにはまいりません。立ち上げ期で、予算面でまだまだ苦しいこともあり、今回の助成を受けて、安心して皆で活動していけます。まだまだ認知度が低いですが、しっかりと、地域の小学生のいるご家庭にお知らせをしていきます。コロナ禍において、表面にはなかなか出てこない、児童の食糧、栄養問題にもしっかりと取り組み、スタートします。ありがとうございます。



まほう堂(海老名市)

代表 阿部 百合子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2021年5月

団体の目的・活動内容

- 世代間交流の場
- ・フリースクールと駄菓子屋、こども食堂

活動歴

(1)子ども向け事業

2121年4月1日 まほう堂の畑スタート 2021年5月10日 駄菓子屋オープン 2021年9月1日 フリースクールプレオープン 2022年8月1日 こども食堂オープン予定 2022年7月1日 無料塾スタートします。

(2)保護者向け事業

保護者シェア会、個人カウンセリング

(3)駄菓子屋イベント

DIYイス作り、夏休み自由研究用ワークショップ、プチまつり、クレープ作り、ドラマケーション、もちつき、かるた大会

団体情報

住所: 〒243-0426

海老名市門沢橋6-10-7

TEL: 090-5763-1324

Mail: happylife.mahodou@gmail.com
URL: https://ebina-mahodou.com/

★助成した事業・活動 まほう堂・こども食堂

★内容

フリースクールに通う子どもたちが地域に開く こども食堂

★助成対象

物品購入費、食材費、印刷費、 ボランティア交通費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ





NPO法人 いーぷらす のあのあ(横浜市) 代表 上原 陽子 助成金額 90,000円

団体紹介

設立年月 2015年10月

団体の目的・活動内容

障害者の生活を支援し、障害のある方や、地域住民に対し、コミュニティーの場としてのサロンを運営することで、障害のある方に就労の場を提供するとともに、地域住民の居場所作りに関する事業を行い、地域の方々の障害に対する理解を深め、地域における社会福祉の増進に寄与することを目的としています。「のあのあ」は、障がいのある方が働く場所(就労継続支援B型)です。

活動歷

イ製匠 ドッグカフェ運営、フェルティドッグ制作、受 注作業、地域清掃、手芸等。 2021年8月~2月まで、月1回「アニマルセラピー を通じた地域の居場所創設事業」を実施。

団体情報

〒236-0042 住所:

横浜市金沢区釜利谷東6-1-18

045-512-6407 TEL: 045-873-9613 FAX:

URL: https://noah-noah-2016.com/

★助成した事業・活動

アニマルセラピーを通じた地域の居場所 創設

★内容 ドッグセラピー開催

★助成対象 講師謝金

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

長引くコロナ禍、外出や余暇などの行動に制限がかかり、利用者の方たちもストレスを感じています。同様に、地域に住む障がいのある子ともとその親御さん達も、安心して遊ばせることのできる場所が減り閉塞感を感じているとの声が届くようになりました。そこで昨年度は、アニルをを活用し、セラピードッグを招いて変好評した。 でした。

今回この「ソーシャルインクルーシブ助成」をいただけることで、今年度もアニマルセラピーを開催することができます。アニマルセラピーの開催を通じて、利用者さんや地域住民のみなさんの笑顔あふれる時間を 作っていきたいと考えています。

助成決定していただき、本当にありがとうご ざいました。







特定非営利活動法人 ひだまりの森(横浜市) 代表 林 順子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2006年4月

団体の目的・活動内容

設立メンバーは公的機関相談員として親子と関わってきました。悩みがありながらも相談できず孤立した結果親の精神疾患・虐待・DV等の多岐にわたる問題が生じていることから「無料・匿名の敷居の低い相談」を実施するためNPOを設立しました。相談を通して親支援をするとともに子育ての課題やニーズを社会に発信し、子どもの健全な成長に繋げる活動を目指しています。

- ·相談事業(約2,000件/年):電話相談(無料·匿名)/ 専門相談 / グループ相談
- ・親子対象事業:しゃべり場・講座
- ·支援者対象事業:相談員養成講座·支援者のため の勉強会

活動歴

- ・2006年 法人設立・子育て期の相談事業受託 (横浜市男女共同参画推進協会2010年3月まで)
- ・2010年 自主運営 相談室開設
- ・2019年 かながわ子ども子育て支援奨励賞 受賞(神奈川県)
- ·2020年 神奈川地域社会事業賞受賞(神奈川 新聞·神奈川新聞厚生文化事業団)

団体情報

TEL: 相談室:045-341-3607 / 事務局:070-1470-5187

Mail: hidamarimori1154@sky.hi-ho.ne.jp
URL: http://hidamarinomori10.blog.fc2.com/

★助成した事業・活動「ゆっくり しゃべり場」事業

★内容

コロナ禍で生きづらさを抱えている親のための 居場所

★助成対象 講師謝金、ボランティア活動費、通信費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

長期化するコロナ禍において、支援の狭間に位置 するグレーゾーンの方は、これまで以上に生きづらさ が増していると活動を通して感じています。互いの 違いを認め合い共に生きることを大切にしたいと、悩 みは違っていても一緒の場でのしゃべり場・グルー プ相談を実施してきましたが、日に日に余裕がなく なっている今の社会状況では、生きづらさを抱えて いる方の安心できる場を別枠で設けることが必要と 考え、【ゆっくりしゃべり場】を企画し、助成により実施 することができました。厳しい状況にある母親の精 神的安定を保ち、子どもの生活を守る一助になれば と思っています。母親自身が「発達の偏りがあるよう だ」「精神的な病を患っている」といったカミングアウ トをする相談が増えていることから、事業名にあえて 「生きづらさを抱えている」と表記しました。生きづら さを受容できずに苦しんでいる方がこの事業により -歩踏み出す「きっかけ」になってくださればとの想 いも込めています。







个 相談員養成講座

左上:電話相談 左下:しゃべり場

特定非営利活動法人 地域サポートマリン(横浜市) 代表 桑波田 りえ 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2002年7月

団体の目的・活動内容

- ・法人理念「若い人も歳を重ねた人も住み慣れた町で住み続けたいを応援します」の具現化。
- ・その人らしく生活していくため、介護保険では賄いきれないところに寄り添った柔軟な支援。
- スタッフやボランティアが当事者意識を持ち、人と地域、人と人がつながるサポート。

活動歴

- 2011年12月 地域コミュニティサロン活動
- 2012年10月横浜市認可小規模保育室運営
- ・介護予防プログラム(スクエアステップ)、交流スペース(カフェ)、手づくり品販売、福祉講座、子ども用品トレード広場、手芸教室、書道教室、コピーサービス、ミシンカフェ、ペットボトルキャップ収集など

団体情報

住所: 〒236-003

横浜市金沢区六浦5-1-12

TEL&FAX: 045-786-0873

Mail: info@support-maring.org

U R L: http://support-maring.org/

★助成した事業・活動

みんなの交流スペース むつら(六浦)

★内容

多世代交流スペース

★助成対象

物品購入費、消耗品費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度の助成によって、これまでに構築してきた地域コミュニティーをさらに広げ、深めることができる場所「みんなの交流スペース むつら(六浦)」を開設することができました。多世代で共有できるスペースで、心と体の健康の維持を目的に、自由に通える、ゆったり過ごせる場所を提供、住民同士が支え合い、助け合い、集う拠点を作っていきます。コロナ禍での運営で、感染防止・予防に助成金を有効に使わせていただき、安心安全な憩いの場を提供できることに感謝しています。

地域の中で、その人らしく生活していくためのニーズ(近隣住民同士のつながりや困りごとのの解決など)をキャッチ、人に寄り添いながら地域力を育むことに、この事業の深い意義を感じています。助成金は、この活動の継続のためにも、有意義に使わせていただきます。ありがとうございました。









Café de FUKUSHIMA(横浜市) 代表 石川 和宏助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2015年1月

団体の目的・活動内容

2011年3月26日、楢葉町・広野町・いわき市で被災者のみなさんに水や食料を横浜から届けることから始まり、いわき市・福島市・二本松市・南相馬市・郡山市・本宮市・三春町・河内村・川俣町に於いて、南相馬市(含む小高区)・浪江町・富岡町・双葉町・大熊町・飯舘村・葛尾村・川内村から避難している方々が住む復興住宅などで、避難者・被災者向けの交流会を開催し、支援を行っています。

活動歴

- ・2015年からの累計で仮設住宅や復興住 宅410ヶ所を訪問、支援した被災者・避 難者9,183名、支援者などを含めた総数 は10,257名。
- ・コロナ禍では福島県の大学生、留学生、 シングルマザーへの食支援を行っています。

団体情報

住所: 〒236-0052

横浜市金沢区富岡西3-14-21

TEL: 045-775-0104

FAX: 045-775-0104

Mail: ishikawa216@gmail.com

U R L: http://311fukushima.org/

★助成した事業・活動 被災地での原発被災者支援

★内容

復興住宅・災害公営住宅での食料等の物資支援活動

★助成対象 交通費、食材費、通信費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は、生活クラブソーシャルインクルーシブ助成を頂きありがとうございました。早速4月19日から20日までの間、宮城県・福島県を訪れ食料等の支援、イベントの開催などを行って参りました。コロナ明けで皆さんイベントには期待をされていました。

また、福島県の川内村では、従来のように支援がなかなか届かないという話も聞きました。

この村の社協(五社の杜サポートセンター)とは古くからの付き合いがあり、いつも「何か必要なものはありませんか」と尋ねています。今回は高齢者の春物のトレーナーが欲しいとのことでしたので、助成金を使わせていただきお届けしました。社協は窮状は分かっていても、なかなか個別のニーズに対応するのは、公平性の観点から難しいようです。皆に平等に配るという点を確保しないと、結構問い詰められたりするそうです。私どもからのプレゼントにすればこの点をクリアできます。

南相馬市では、3.11後に災害公営住宅として高齢者優先で入居させたところに水・レトルト食品などを配布して参りました。高齢者優先で入居というのは、当時として適切だったのでしょうが、10年以上経つと老人ホームのような状況になります。

助成金のおかげで、色々な所に食料品などを届けることができてます。また5月に出かけます。頂いた10万円で3回くらいは出かけられると思っています。





ちゃりTea屋♪(横浜市)

代表 相澤 明春 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2017年4月

団体の目的・活動内容

日本各地の甚大な被害を受けた被災地で被災者 の立場に寄り添った支援活動を行い、参加者も現 地の方々も一緒に笑顔になれるような活動ができる よう努めると同時に、未災地での防災・減災活動へ の啓発も積極的に行い、被災地の復興と未災地の 地域社会との双方に貢献し、未災地の支援の手と 被災者の手を繋ぐ、その架け橋となる団体を目指し ています。

活動歴

- ・2017年 九州北部豪雨災害支援
- •2018年 西日本豪雨災害災害支援
- •2019年 台風19号災害支援
- •2020年令和二年七月豪雨災害支援
- -2021年 熱海伊豆山土砂災害支援
- ・2022年えひめ南予きずな博つむぐイベントにて 【ちゃりTea屋♪第37号店】出店

横浜市内小学校において【放課後キッズクラブあそ ぼうさい♪】開催

団体情報

TEL: 090-1110-7742 Mail: <u>Chariteaya@gmail.com</u> ちゃりTea屋STORE

https://m.facebook.com/-342624506363573/

★助成した事業・活動

コロナ+災害からの二重苦困窮者生活自立支援 活動

★内容

生活再建をめざす人々への支援

★助成対象

物品購入費、交通費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

長期化するコロナ禍の最中、甚大な災害の発生した被災地では避難生活においてもソーシャルディスタンスを強いられたり、コミュニティ確立が難航したりと窮屈な生活が長く続きます。家屋の復旧や地域の復興にも遅れを生じる事から、募る空虚感や焦燥感を少しでも和らげられる取り組みに、託されました助成金を活かしたいと思います。継続中の熱海土砂災害支援活動地も復興半ばであり、本年三月に発災した福島沖地震被災地域においても報道があまりされておりません。双方の地域共に人知れずお困りの方々が前向きに一歩づつ進めるよう支援活動を展開したいと思います。

この度は誠にありがとうございました。日々、各地で 共に支援活動に勤しまれる皆様の想いが安全に届 きますようお祈り申し上げます



NPO法人 Music of Mind(藤沢市) 代表 市川 誠 助成金額 81,000円

団体紹介

設立年月 2012年4月

団体の目的・活動内容

- 1. 知的障がいを持つ利用者が、音楽を通して社 会や地域と結びつき、共に成長し支え合いな がら自立して生きてゆける生活の実現を目標 とする。
- 2. 利用者本人の意思や目標を念頭に、利用者 の現在と将来の幸せについて考え、行動し、 支援する事を目標とする。

活動歴

2012年 FMヨコハマにてオリジナル曲「Music of Mind」放送

2014年 かながわNPO映像祭 最優秀賞受賞

2015年 クラウドファンディング FAAVO

2017年 神奈川バリアフリー賞 ソフト部門受賞

2017年 藤沢市主催 ふれあいフェスタにて テツandトモとステージで共演

2022年4月現在 自主企画コンサート11回開催

団体情報 住所: 〒251-0861 藤沢市大庭5251-1

TEL: 0466-86-7857

music-of-mind@kir.biglobe.ne.jp Mail:

URL: http://mofm.web.fc2.com

Instagram

https://www.instagram.com/musicofmindstaff/

Facebook

https://www.facebook.com/musicofmind0409/

★助成した事業・活動

知的障がい者の自立支援と地域とのコミュ ニティ維持をめざしたカフェ

★内容

カフェ事業

★助成対象

物品購入費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

蔓延するコロナウイルスの影響で、例年行ってい たコンサートやイベントの大半が中止になりました。 それでも事業所に通ってきている利用者達は、毎日 音楽練習を欠かさず行い、お客様の前でライブを披 露する日を心待ちにしておりました。

カフェ業務を通して地域住民の方と交流をし、また 野外のイベントなどに出演する事でまた多くの方に 音楽をお届けできるかと安心した矢先に、ライブの 衣装やカフェの作業着を洗うための洗濯機が壊れ てしまいました。

ですが、今回いただいた助成金のおかげで洗濯機 を買い直すことができ、これでまたカフェのユニ フォームやエプロン、ライブの衣装を身に着けて皆 様の前に立つことができます。

今回助成をいただきまして誠にありがとうございま した。



ごちゃまぜ(厚木市)

代表 小野 純子 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2020年4月

団体の目的・活動内容

障害の有無に関わらず、みんながごちゃまぜになって生きる社会を目指す音楽・アート・マルシェを柱に障害のあるなしに関わらず、みんなが「楽しい」を体感してつながることができるイベントを企画・運 営しています。

活動歴

・2018年8月18・19日 「あつぎごちゃまぜフェス2018」開催、277名来場。

・2019年8月17・18日 「あつぎごちゃまぜフェス2019」開催、アートワークショップやマルシェ、音楽ステージ、インクルー シブ教育『学び合い』の模擬授業を開催 累計441名来場。

・2020年はコロナによりアート展示とオンラインで の音楽・トーク・マルシェイベントに切り替え、24

時間SNS生配信を実施、合計11000回以上再生。 ・2021年も地域のレストランなど7店舗に障害のある方の作品を展示する「まちなかアート展」を 開催、音楽イベント、オンライン講演、映画オンラ イン上映等。

団体情報

住所: 非公開

090-6444-8041 TEL:

gochamazefes2018@gmail.com URL: https://gochamazefes.org/

★助成した事業・活動

ごちゃまぜステージ2022 in summer

★内容

障害の有無に関わらずともにつながる音楽 ライブイベントの開催

★助成対象

広報費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

私たちの団体では、「楽しい!」を一緒に体験する ことから障害理解を広めていきたい思いで活動して います。関心がない人、障害について怖い、かわい そう、と思う人ほど巻き込みたい。

そのためには、どんなに楽しくて魅力的な企画・イ ベントを開催していても、それだけではダメなんです。 知っていただくためのていねいで継続的な広報活動 が必要です。

今回いただいた助成は、私たちの活動を知ってい ただくためのチラシ作成費として大切に使わせてい ただきます。「みんなちがって、みんないい」ごちゃま ぜの世界を作るために、これからもクリエイティブな わくわくするようなイベントを、障害の有無に関わら ずたくさんの方がつながり、知り合うきっかけとして 開催していきます。



アートステージ(座間市)

代表 小山 透 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2019年12月

団体の目的・活動内容 【目的】主に心身にハンデある人やコミュニケーションが苦手な人を対象に、アート活動を通して、表 術表現の楽しさを味わってもらうと共に自信 を持って社会生活が送れるように支援する。

【活動内容】

- 様々なジャンルのアーティストによる楽しいアート体験 講座の開催
- ・地域への啓発として創作の発表の場であるユニバー サルアート展の開催
- ・周辺地域のアーティストの作品展や作品紹介など のアート活動情報の発信
- アートが仕事につながるためにアートグッズの制作な どアート作品の商品化

活動歴

- •アーティストによる一般市民及び小学校特別 支援学級のアート創作講座の実施
- ・SNSでアーティストのアート活動情報を随時発信
- ・地域アートイベントへの参加(座間まちづくり大賞、座 間の今アート展、杜のアート展等)
- ・他団体の展示会協力(設営・運用、オリジナルアー トグッズ制作など)

団体情報

住所:

座間市小松原2-44-1-808

090-4172-3394 TFI ·

Mail: artstage.zama@hotmail.com ★助成した事業・活動 ハンデのある人へ~ 自分らしさ発揮アート体験講座

★内容

特別支援学級、福祉事務所でのアート体験講座

★助成対象

消耗品費、講師謝金、通信費、広報費、 ボランティア活動費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

小学校の特別支援学級の生徒さんは言葉ではう まく意志を伝えられなくても、アートならその子の個 性や感じていることを表現することができます。特に 外部講師による授業ということで、前もって先生も下 絵を描かせるとか、今までにないステップを踏んで 当日を迎えたりするので、期待と真剣味がふだんの 授業と比べて大きく膨らみます。そして作品完成後 は必ず一つ一つの作品の講評を行い、それぞれの 良いところを褒めます。そんな時の子供たちの表情 を見るのが大好きです。そんな経験を一人でも多く の子供たちにさせてあげたいと思っています。今回 の助成を受けて今まで以上に内容を工夫して、一つ でも多くの学校に事業内容を説明し、子供たちの心 に残るアート体験講座を実施していきたいと思いま す。



木村亭(厚木市)

代表 木村 由利子 助成金額 36,000円

団体紹介

設立年月

2021年1月

団体の目的・活動内容

- ・集うことでよいコミュニケーションの場を作り生活に役立つ情報交換が行え 癒しの場とする。
- ・不用になった素材で 実用的な小物作りを しながら 機能維持を図る。

活動歴

- 絵手紙年賀状、ネクタイでネックレス作り、 ティッシュ&マスクケース作り、ネクタイ ポシェット
- ・オレンジろば隊長作り(荻野地域包括より 依頼される)、あまり布での帽子作り、簡 単な体操

団体情報

住所: 〒243-0204

厚木市鳶尾 5-11-13

TEL: 046-242-2156 携帯 080-5196-2156

Mail: seijinsiki30yuriko@gmai.com

★助成した事業・活動木村亭

★内容

一人暮らしや年齢的な不安を感じている 人への場づくり

★助成対象

食材費、物品購入費、交通費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

助成をうけることができ しっかりと活動を行えるよう応援いただき ありがとうございます。

会場が個人宅ですが 地域に貢献できる場ととして 近隣に情報提供していき 木村亭の内容をより充実 し、役立つものにしていきたい想いです。

※認知症サポーターマスコットロバ隊長(大型) と根付型ピン付き(40体)作り荻野地域包括 より依頼されました。(写真)



寄合所オレンジカフェもりや亭(厚木市) 代表 森屋 由美 助成金額 59,640円

団体紹介

設立年月

2019年4月

団体の目的・活動内容

高齢一人暮らしの方、介護を受けていない高齢の方を主に、おしゃべりの場所と、安価で食べられる地域食堂を提供。健康チェック、介護や認知症の早期発見。

活動歴

- ・地域の方々と蕎麦打ち大会、高齢男性が 蕎麦打ち実演、参加者全員で食する
- ・練切和菓子の講師を呼び、練切実演後、 抹茶を点てて、参加者全員と食する
- ・地域の方々の発表の場所として提供(絵画 古布服、ちぎり絵、つるし雛)

団体情報

住所: 〒243-0204

神奈川県厚木市鳶尾4-6-15 Mail: yuminosuke1231y@yahoo.ne.jp

★助成した事業・活動

誰もが過ごせる居場所

★内容

温かい食事の提供、江戸伝統「かっぽれ踊り」 鑑賞会

★助成対象

食材費、講師謝金、会場費、ボランティア 活動費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度はソーシャルインクルーシブ助成の審査で 選定頂き心より感謝申し上げます。

寄合所として活動する「もりや亭」は、高齢者の方が 気軽に集まっておしゃべり出来る場所となっていま す。厚木市鳶尾地区は食堂も少なく、集まれる場所 も限られています。

高齢一人暮らし、高齢夫婦世帯が圧倒的に多く、 自治会の集まりはすべて中止。その為、街は活気も なく、元気もありません。もりや亭は飲食店の許可を 取り、皆さんが作った野菜などを持ち寄って、安価 にうどん、カレーなどを提供しています。

高齢の方や不登校の家族や障害のある方も、へだたりなく参加できるよう『いていい居場所』として声かけしています。

今回の助成で焼立てパンの提供や楽しい演芸を見て『温かい食事と笑い』を共有し、皆で笑顔になり 『楽しかった』と言いたいと思います。









愛川芸術就継Bみらいのあいの家設立準備室(愛川町) 代表 丸茂 かつ江 助成金額 100,000円

団体紹介

設立年月 2018年8月

団体の目的・活動内容

主に地域の障がいのある方を対象に専門家に よるアートと音楽の芸術活動を行い、地域の触れ合いの中で社会的な自立支援を推進し、将来アートが仕事として活躍できる就労支援施設の設立を目 的として活動しています。

活動歴

主に福祉施設や就労支援事業所に通われる方、 養護学校や小学校の学習室の児童を対象に、一般 の人も含め、アートと音楽の様々な芸術体験講座を 実施

- ・ 障がい者アート公募展とオリジナル商品製作
- 障がい者アートの啓蒙活動
- 障がい者アートを広めるためのパラアート 作品展
- ・障がい者ワークショップ付交流会
- 障がい者アート巡回アート展、障がい者アート グッズマルシェ開催

団体情報

住所:

. 〒243-0303 愛甲郡愛川町中津3625-5

080-3444-2361 TFI · Mail: info@mirainoainoie.jp

★助成した事業・活動

アートと音楽のワークショップ付き交流会と 巡回アート展

★内容

交流会でのアート作品作成と作品発表の場の

★助成対象

会場費、物品購入費、消耗品費、通信費

助威をうけて・・・の思い・メッセージ

日頃、アートと音楽を通して障がい当事者や家族と 地域の人とのつながりや交流する機会を増やし、障 がい者アートの理解や協力を広めるとともに、学校 や事業所に所属の方や、それらに関わりのもてない 普段自宅などに引きこもりの方まで作品を不特定多 数の方々にみてもらう機会を増やしています。

外に出てふれあうきっかけ作りまで、幅広く支援が 出来たらという願いから、ワークショップ付交流会と 町内外への巡回アート展やマルシェ出店など日々 チャレンジを目指しています。

コロナに負けずに出来ることを一つでも二つでも見 つけながら活動をつづけています。地域の方々との ふれあいの機会やつながりを今後も増やしていきた いと考えています。

これらの活動に対する資金を助成していただき、 様々な可能性が広がりとても嬉しく思います。 ありがとうございます。







つくレクエ作室(横須賀市) 代表 西 由樹子 助成金額 48,960円

団体紹介

設立年月 2018年10月

団体の目的・活動内容

子どもたちの豊かな心を育み未来へとつながる応援を目的として、幅広い世代、あらゆる人が集い、創作と交流を愉しめる場をめざして活動しています。

活動歴

2018年~ 児童養護施設にて創作レクリエーション実施(継続中)

2021年~ 子ども食堂開催と連携した

創作レクリエーション実施 (継続中)

団体情報

URL: https://tsukurec.wixsite.com/craft

★助成した事業・活動 エ作レクリエーション

★内容

児童養護施設の子どもたち、職員を対象とした工作 クラフトレクリエーション

★助成対象

物品購入費、消耗品費、食材費

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は私たちの活動にご支援いただき、ありがとうございます。「目の前の次世代を生きる子どもたちのために何ができるか」に思いを巡らせたとき、「人と出会い、交流を愉しみ、繋がりを育んでいける場を作ること」をめざしたいと考えました。その思いが柱となり、まずは私たちが楽しめる活動であること、そして、できること、喜ばれたことを重ねて現在の活動の形となりました。

助成をいただき最初に計画したことはフラワーアレンジメント体験です。子どもたちからどんな個性あふれる作品が生まれるか、今からとてもワクワクしています。

今後の展望としては、地域で暮らす子どもたちを中心に幅 広い世代、あらゆる人が集い交流を愉しめる場づくりも視野 に活動したいと考えています。こちらをご覧になっている皆 様といつかどこかで合流し、ともに活動できる日を楽しみに しています。







寄付文化の拡がりに皆様のご協力を ~市民基金を支える寄付方法~

「賛助会員」として応援する

公益財団法人かながわ生き活き市民基金は、助成事業、研修・セミナー事業、相談・助言事業、広報発行事業の4つの事業を行っています。当財団を継続的に支援してくださる「賛助会員」を募集しています。(賛助会費は当財団の運営に活用されます)

賛助会費は当財団への寄付となり、税制優遇措 置の対象となります。

【年会費】

- ◆個人会員(1口 1,000円)1口以上
- ◆法人·団体会員(1口10,000円)1口以上

【特典】

- ◆各種報告書の送付(年次報告書、助成団 体報告書「福祉たすけあい基金Book」、フォーラ ム報告書)
 - ◆ 当財団が企画開催するイベントへのご招待 (フォーラム、贈呈式等)

【お申込み方法】

◆ゆうちょ銀行から振込 記号番号 00250-0-72370 ザイ)カナガワイキイキシミンキキン

◆ゆうちょ銀行以外から振り込み

ゆうちょ銀行 店名:〇二九店

口座番号:0072370

ザイ)カナガワイキイキシミンキキン

※通信欄に「賛助会費」とご記入ください。

「福祉たすけあい基金」への 寄付で応援する

◆基金の用途

皆様より戴いたご寄付は、「福祉たすけあい基金」の 原資として蓄積し、神奈川県内で福祉・たすけあいの 市民活動や事業を行う団体・市民グループへの助成 金としてお届けいたします。

なお、寄付金の35%は助成等を行うための法人運営費用として大切に使わせていただきます。

◆寄付金額

1年間1口1,200円となります。1口単位でご寄付可能です。

◆お申し込み方法

寄付の方法は、「口座引落(継続)」「口座振込(単年)」(左記、賛助会員と同じ口座)「現金書留」よりご希望の方法をご選択ください。

詳しくはホームページをご参照ください。

税制優遇について

- 当財団は公益法人です。公益法人への寄付は、 税制上の優遇措置が受けられます
- 個人の方は所得税、住民税が控除の対象となります。
- 法人の方は1年間の寄付の総額の一定額を、損金に算入することができます。
- 詳しくは、お近くの税務署等にお問い合わせください。

































































発行:公益財団法人 かながわ生き活き市民基金

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-2-15 パレアナビル 6 F

Tel: 045-620-9044 Fax: 045-620-9045 Mail: info@lively-citizens-fund.org

URL: http://www.lively-fund.sakura.ne.jp

Facebook: http://www.facebook.com/livelycitizensfund

発行日: 2022 年 8 月 1 日 発行部数: 800 部